

官報

號外

明治三十九年三月二十四日

土曜日

印刷局

○第二十二回 帝國議會 衆議院議事速記録第二十號

明治三十九年三月二十三日(金曜日)午後一時九分開議

議事日程 第十九號 明治三十九年三月二十三日

午後一時開議

- 第一 關稅定率法改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二 明治三十八年法律第七十號中改正法律案(國井庫外) 前會ノ續
- 第三 新聞紙條例中改正法律案(橫井時雄外) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第四 民事訴訟法中改正法律案(森田卓爾外) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第五 監視廢止ニ關スル法律案(望月長夫外) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第六 屠場法案(川島瀧藏外) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第七 明治三十二年法律第八十六號中改正法律案(內山吉太外) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第八 辯護士法中改正法律案(阿部德三郎外) 第一讀會
- 第九 日韓兩國ノ關稅ニ關スル建議案(早速整爾外) (委員長報告)
- 第十 高等水產學校設立ニ關スル建議案(川原茂輔外) (委員長報告)
- 第十一 取引所賠償責任準備積立金ニ關スル建議案(森茂生外) (委員長報告)
- 第十二 行政裁判ニ關スル建議案(宮古啓三郎外) (委員長報告)
- 第十三 穀物検査ニ關スル建議案(藤金作外) (委員長報告)
- 第十四 大角力常設館國庫補助ニ關スル建議案(與野市次郎外) (委員長報告)
- 第十五 市町村長ニ對スル行賞ニ關スル建議案(關信之介外) (委員長報告)
- 第十六 屯田兵恩給ニ關スル建議案(淺羽靖外) (委員長報告)
- 第十七 伊勢神宮大祓及曆頒布ニ關スル建議案(濱田國) (委員長報告)

○議長(杉田定一君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

伊勢神宮大祓及曆頒布ニ關スル建議案

提出者 濱田 國 松君

官報號外

明治三十九年三月二十四日(明治三十九年三月三十一日第三種郵便物認可)

衆議院議事速記録第二十號 議長ノ報告

大船渡開港鐵道鐵業ニ關スル建議案

提出者

阿部德三郎君 遊田 研吉君
高橋 金治君 小田 文行君
高橋 安爾君 恆松 隆慶君
根本 正君 原田 越城君

癩瘰防法案

提出者 山根 正次君 島田 三郎君

一指定セラレタル委員左ノ如シ

國債ニ關スル法律案委員

長谷川 豐吉君 石井 信君
中林 友信君 景山 甚右衛門君
武內 美代吉君 武富 時敏君
守屋 此助君 鈴木 久次郎君
岡田 治衛武君 中谷 宇平君
早速 整爾君 菊池 武德君

登錄稅法中改正法律案委員

久保 彦太郎君 中西 光三郎君
東尾 平太郎君 齋藤 勘七君
福島 宜三君 小林 仲次君

貯蓄銀行法案委員

瀧口 吉良君 前島 元助君
宮本 嘉樂君 海野 謙次郎君
岩元 信兵衛君 菅澤 重雄君
佐藤 伊助君 井上 要君
三輪 壽作君 荒川 五郎君
早速 整爾君 小林 仲次君

一委員長及理事左ノ適當選セラレタリ

明治三十二年勅令第百三十二號廢止ニ關スル建議案

委員長 川島 瀧藏君 理事 永見 寛二君

國債ニ關スル法律案

委員長 岡田 治衛武君 理事 守屋 此助君

臺灣總督府鐵道部現金前渡官吏設置ニ關スル法律案

委員長 島海 哲四郎君 理事 菅澤 重雄君

登錄稅法中改正法律案

委員長 中西 光三郎君 理事 東尾 平太郎君

○議長(杉田定一君) 是ヨリ會議ヲ開キマス

○江間俊一君 議長——江間俊一

○議長(杉田定一君) 暫ク……

○竹越與三郎君 是ヨリ請願委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ、御承認ヲ願ヒマス

○議長(杉田定一君) 是ヨリ請願委員會ヲ開キタウト云フ請求ガアリマスガ許可シテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス

○奥野市次郎君 先刻本員ト大津君ヨリ委員長ニ代リテ、請求シテ置キマシタガ、衆議院議員選舉法改正案外二件ノ特別委員會ヲ是ヨリ開キタウゴザイマスカラ……

○議長(杉田定一君) 衆議院議員選舉法中改正法律案ノ委員會ヲ是ヨリ開キタウト云フ請求ガアリマスガ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○栗塚省吾君 是ヨリ決算委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ……

○議長(杉田定一君) 是ヨリ決算委員會ヲ開キタウト云フ申出ガゴザイマスガ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、江間俊一君

〔江間俊一君登壇〕

○江間俊一君 諸君、私ハ昨日ニ於テ前政府ガ犯罪檢舉ニ付キマシテ、非常ナル惡政ヲ取ツタト云フ事實ヲ述ベテ置イタデアリマス、即チ此事實ハ述盡シタデアリマス、本日更ニ進シテ此引續ノ演説ヲ致シマス、吾々ハ例巧ハ邪家ヲ覆ヘシ、或ハ學者ハ國ヲ誤ルト云フコトハ聞イテ居リマスガ、蠻勇内閣ノ惡政策ノ結果ノ恐レキニ付イテハ、實ニ憂慮ニ堪ヘヌデアリマス、桂内閣ハ斯ル惡政策ヲ何レカラ輸入シタカト云フテ、段々調ベテ見マスト、四百年以前ノ「チャールズ」第一世時代、時ノ宰相「バックingham」ノ政策ヲ其儘我邦ニ移シタデアリマス、即チ「バックingham」ハ御承知ノ通り凡ソ時ノ政府ニ反對スル政治家ハ、悉ク難辭ヲ付ケテ檢舉シテ、牢ニ投ジ、鐵窓ノ下ニ呻吟セシメタデアリマス、即チ丁度桂内閣ガ「ボーツマウス」ノ屈辱的講和ヲ致ス時分ニ、大ニ騷イダ河野君ノ如キ人ガアッタデアアル「サージョンオーニット」民黨ノ最モ激烈ナルモノニシテ、所謂政府反對黨ノ首領デアッタデ、彼等ガ大ニ「バックingham」ノ彼ノ西班牙外交政策ニ失敗シタ時分ニ、種々ナル問題ヲ以テ反對シ、遂ニ彈劾ノ法廷ヲ開クニ至ッタデアリマスガ、其時丁度河野君ナド牢獄ニ投ズルガ如ク「オリエント」並ニ是ニ相次グコロノ反對黨ノ首領「サーダウツレーチンダス」ナドモ獄ニ投ゼラレタデアリマス、當時議會ニ於テ西班牙ニ對スル外交ノ失敗ニ付イテハ、有名ナル貴族院議員「プリズドル」伯ガ嘗テ西班牙公使ニナツテ居タカラ、能ク事情ヲ知ツテ居ルカラ、是ヲ貴族院ニ於テ大ニ論セラ、ルコトヲ恐レテ、種々ナル方法ヲ設ケテ、議會出サヌトシタデアリマス、又貴族院ニ於テハ「アランデル」伯ハ六票ノ投票權ヲ有シ、有力ナル政府反對者ナルノ故ヲ以テ、遂ニ獄ニ投ジタデアリマス、斯様ナリ方デ、而モ「バックingham」ハ明黨相引援致シマシテ、何デモ手前ノ云フコトヲ肯ク人物ヲドンドン政府ニ入レル、反對黨ハ皆、迫害スルト云フコトヲヤッタデアリマス、丁度桂内閣ノヤリ方ト同ジコトデアル、外交ニ失敗シ、行政財政ノ整理ハ出來ズ、理由ナクシテ屢々議會ヲ解散スルナ

ド、種々ノ點ニ於テ殆ド能ク似テ居ル、同ジコトデアアル、ワレダスル四百年前ノ政策ヲ其儘丸寫シニ致シマシテ、サウシテ遂ニ此比合事件ト云フモノヲ茲ニ發生セシメタデアリマス「バックingham」ハ「惡政策」ハドウ云フ結果ヲ見タデアリマスガ、彼ハ遂ニ暗殺サレタデアアル、彼ハ暗殺セラレタルニ止マラズシテ、遂ニ「チャールズ」一世モ彼ノ難肋議會ノメニ刑戮ニ處セラレタデアリマス、英吉利千六百四十二年ノ大革命ハ、此惡政策ノメニ發シタデアリマス、此事柄ハ當時「チャールズ」派ノ「クラレシドン」伯ト云フモノガ、革命後共和政府トナツテ、彼ハ國ヲ追放セラレタデアリマスガ、追放セラレタ身分ノ上ニ於テ、大ニツレテ辯解シテ居ラレルデアリマス、「チャールズ」一世ガ斯様ナ悲境ニ陥ツタノハ、全ク政治家ノ迫害、理由ナクシテ屢々議會ヲ解散シタ結果デアルト云フコトハ、彼「バックingham」ハ「興黨」モノガ、而モ共和政府トナツテ、革命後ノ懺悔トシテ著ハシタ書物ニ明白ニ書イテアルデアリマス、即チ蠻勇内閣ハ今少シ何トカ好イ政策デモ取ツタラ宜カッタデアリマスガ、四百年以前ノ而モ英帝國ガ共和政體トナツタ「レボリューション」其惡政策ヲ其儘取ツタト云フコトハ、本員ハ實ニ驚カザラ得ナイデアリマス、昨年ノ九月五日、六日ノ騷擾事件ニ於キマシテ、東京ノ市民ハ交番ヲ燒イタ、警察署ヲ燒イタ、或ハ小膽ナモノハ驚イタデアリマスガ、吾々ガ常ニ世界ノ歴史ヲ緋イテ居ル目カラ以テ見レバ、誠ニコナンコトハヤサシイコトデアアルデアリマス、私ハ常ニ思フノデス、交番、警察ノ燒打位テ濟シタノハ、甚ダ結構ナコト、思フデアアル、彼ハ英吉利ニ於テ「レボリューション」ヲ激成シタ「バックingham」ハ「惡政策」ヲ其儘吾國ニ實行シタノミナラズ、彼桂首相ハ當時ドウ云フヤウナ素行デアッタカト云ヘバ、諸君モ知ラル、通リ日露開戰以來、我忠勇ナル軍隊ハ云フベカラザル、開クモ酸鼻ナル、大激戰ヲヤデ居ツタ、幾萬同胞ガ屍ヲ曝ラシテ、非常ナル戰ヲシテ居ツタ、又國民ハ血ノ出ルヤウナ非常特別稅ヲ負擔シテ居ツタ、恐レ多クモ 陛下ハ御休暇ナク政治ヲ贊ハレテ居ツタ、其時ニ當ツテ、志士ヲ壓迫シ、議會ハ屢々謂ハレナク解散ヲシ、而シテ彼ハ何ヲシテ居ル、河原乞食ノ喰荒ラシタル醜業婦御鯉ナルモノニ、間ガナ隙ガナ膝枕デ、都々一ヲ談ツテ居ツタデアアル「バックingham」ハ「如キデス——」「バックingham」ハ如ク暗殺サレナカッタノハ、勿怪ノ事デアルト思フ、今日僅カニ彼ガ生命ヲ保チ得タルハ、全ク我國民ガ彼等ノ古キ四百年前ノ惡政策ヲ執ツタニモ拘ハラズ、我國民ハ大ニ文明の進歩ヲ爲シテ居ツタメニ、甚シイ激動ヲシナカッタノデ、詰リ我國民ノ進歩シテ居ツタ點デアルト、私ハ斷言スルデアリマス、以上少シク冗長ニ流レテ、諸君ノ御倦怠ヲ招クヤウデアッタヤウデゴザイマスガ、斯ク述ベナケレバ彼等ノ政策ノ甚ダ不都合デアッタト云フコトヲ證明シ得ラレヌデアス「簡單」ト呼フ者アリ今日ハ簡單ト云ハナクトモ、モウ大抵御仕舞ヒデアリマス、餘リ言論ノ自由ニ妨害ヲ與ヘヌ方ガ宜カラウト思フ、若シ多數ヲ以テ言論自由ヲ壓迫セラレナラバ、我等ハ言論自由ヲ憲政ノ發達ノタメニ、飽マデモ此處ニ留マツタ十分演説スルデアアル、斯ノ如キ惡政策デゴザイマスカラ、現内閣ノ如キ賢明ナル諸公ハ、マサカ之ヲ踏襲ヒナイデアラウト思フ、質問書ヲ提出致シマスルト、想像ノ如ク斯様ナ政策ヲ踏襲スルモノニアラズ、デハナイ、左様ナ政策ト云フモノハ、政府ハ執ルモノナイト云フ答辯ヲ得タデアアル、是ハ斯クナケレバナラヌデアリマス、日本帝國ハ立憲政體トナツテ、憲政ノ美果ヲ收ムル今ヤ試驗中デアアル、マダ憲法ノ美果ヲ收メナイ中ニ、早ク既ニ社會黨ハ崩レテ居ル、今日ノ如ク前内閣ノ惡政策ヲ執ルナラバ、未ダ憲政ノ美果ヲ收メヌシテ、早ク既ニ先様御變リニナラズシテ、社會黨ハ既ニ革命ヲ迫ツテ來ルト云フコトニナルデアリマス、私ハ若シ現内閣ガ、斯様ナ政策ヲ踏襲シナイナラバ、何故ニ昨年九月五日六日ノ騷擾事件ニ於ケル此警察官ガ人民ヲ斬リ、若クハ殺シタ事件ノ檢舉ヲ致シマセ

スノデアリマス。既ニ内閣ハ更迭シテ、歐箇月ヲ經過シテ居ルノデゴザイマス。ニモ拘ハラズ、毫モ此檢察ニ著手シタコトヲ見聞シナイノデアリマス、或ハ言フ吾々ノ意見ヲ容レズシテ、警視廳ヲ廢シナイノデアルカラ、今東京市民ノ保護ノ任當テ居ル警察官、此警察官ガ八民ヲ斬シタノデアリマス。此警察官ヲ司法警察官トシテ使シテ、而シテ彼等ヲ逮捕スルコト云フコトハ、事情ガムツカシイノデアルト云フノデゴザイマス。サウ云フ結果ヲ見ルノデアリマス、其責任ハ寧ロ現内閣諸公ニアラウトモ思フノデアリマス、私ノ見ル處ニ據レバ――

縱シ警視廳ヲ廢シマセヌデモ、誠ニ内閣諸公ガ此檢察ヲシヤウト思ヘバ、出來ヌコトハナイノデアル、即チ能ク法律ヲ研究致シマス、彼ノ巡查ガ人民ヲ斬シタコト云フ、其巡查其者ハ法律上罪ヲ論ズルコトノ出來ナクナツテ居ルノデアリマス、即チ刑法ノ七十六條ニ依リマス。本閣長官ノ命令ニ依リ職務ヲ以テ爲シタルモノハ其罪ヲ論セス。トアルノデアリマス、是ガ斯様規定ガアルノデゴザイマス。能ク當局大臣カラ説諭ヲシテ、汝等ハ時ノ長官ノ命令ヲ受ケタノデ、ソレデア、云フ亂暴ヲ致シタノデアラウ、然ラバ刑法七十六條ニ依リテ罪ニ問ハレヌノデアルカラ、其命令シタル長官ヲ出ゲセト云フコトヲ能ク説諭スル、此事柄ヲ説諭スルコト云フコトハ、極ク宜イコトデアル、ナゼナレバ此警察官――此殺傷ノ被告人タル警察官ヲ其儘ニ置イテ、東京市民ノ保護ノ任ニ當テヤウト云フノハ、事實不能ナコトデアルノデアリマス、假令警視廳ヲ廢シマセヌデモ、ドウカ民心ヲ新タニスルダケノ改良ヲシナケレバナラヌノデゴザイマス、司法警察官、東京ノ警視廳モ今日ハ弱シテ居ルノデアリマス、ナカク――巡查警部ノ言フコトヲ東京ノ市民ハ爲スト云フコトニ付イテ非常ニ困テ居ルノデ、彼等モ困テ居ルコトハ自覺シテ居、故ニ昨年ノ九月五日、六日ノ騷擾事件ニ於テ、不法ナ命令ヲシタル長官デモセメテ出シテ、之ヲ無期徒刑ナリ死刑ナリニスルコト云フコトニ相成リマシタナラバ、彼等モ職務上長官ノ命令デアラ、已ヲ得ズ、云フコトヲシタ、本心デハナカッタト云フコトガ明カナリマス。レバ、多少東京ノ市民モ事情ヲ明カニスルノデゴザイマス。カ、彼等ノ保護ヲ受ケルト云フコトニイクラカ有テ、念ヲ懷クカモ知レヌ、若シ此儘デアッタナラバドウデア、俗ニ云フノデアリマス、泥棒ニ鍵ヲ預ケルト云フコトハ、不注意、愚ノ極トナツテ居、然レニ今ノ警察官ヲ其儘ニ置クコト云フコトニ相成リマス。東京市民ハ殺人罪ノ被告人ニ生、命財産ノ保護ヲ托セナケレバナラヌト云フ結果ニナリノデアリマス、世界ノ一等國デア、法治國デア、而モ其聲譽ノ下ノ東京市民ガ、殺人罪ノ被告人ニ生命財産ヲ托シテ、保護ヲシテ貰ハナケレバナラヌトハ、何事デゴザイマス。カ、若シ現内閣ガ前政府ノ方針ヲ踏襲シナイト云フナラバ、何トカ此點ニ付イテ檢察ノ實ヲ舉ゲナケレバナラヌトモ思フ、此檢察ノ實ヲ舉ゲズシテ、政府ハ質問書ニ云ハル、ガ如キ、方針ヲ執ルモノニアラズ。私ハ不親切ト思フノデアリマス、頗ル遺憾ニ思フノデアル、東京ノコトハ暫ク措キマシテ、私ハ岡ガ出ルノデゴザイマス、靜岡地方裁判所ノ檢察正ノ如キハ、ドウデアリマス。カ、此靜岡縣ノ元ノ警部長即チ昨日私ガ具サニ諸君ニ訴ヘテ置イタノデアリマス。現在彼等ハ官文書偽造詐欺取財罪ヲシテ居ルノデアリマス、而モ刑事訴訟法ノ規定ニ據リマス、此重罪ノ出訴期限ハ十年ノ期間ガアルノデアリマス、少シ古ビテハ居リマス。ガ、四年前ノ犯罪デ、マダ六年ハ之ヲ檢舉スル期間ガアルノデアリマス、ナゼ斯様ナモノヲ檢舉シナイノデアリマス。カ、桂内閣ノ方針ヲ踏襲シナイト云フナラバ、少ナクトモ斯様ナモノヲ何程綺麗ナコトヲ言ハレテモ、實際ニ於テ斯様ナコトハ信用ガ出來ナイノデゴザイマス、

尚又警察官ト檢察ト共謀シテ、サウシテ政治家ヲ迫害スルコト云フ問題ハ、東京ニモ起テ居ルノデゴザイマス。ガ、又靜岡縣ニアッタノデアル、其檢察正ハ即チ今日ノホントシテ、靜岡ノ裁判所ニ職務ヲ執テ居ルノデアリマス、ノミナラズ他ノ斯様ナ迫害ノ仕事ニ當タ官吏ハ、多ク榮轉シタノデアリマス。ガ、彼レ靜岡地方裁判所ノ檢察正ハマダ其儘職ニ就イテ靜岡ニ居ルノデアリマス、彼ハ不治ノ肺病患者デア、最早餘命ノナイモノデア、靜岡裁判所ヲ以テ病院ト心得テ、彼處ニ居ルト云フコトデゴザイマス。ガ、而モ彼ハ毫モ法律ヲ知ラナイノデゴザイマス、彼ハ毫モ法律ヲ知ラナイ、所謂狂犬ノ檢察正デア、何ヲ以テ之ヲ言フ、私ハ其證據ヲ舉ゲルノデアリマス、彼兒玉五郎ナル靜岡裁判所ノ檢察正ハ、本員ノ疑獄事件ニ於テ、公判ニ立會ヒ、斯様ナ辯論ヲシテ居ルノデア、江間ノ所爲ハ欺罔モナケレバ、脅喝モナイガ、一種ノ詐欺デト云フ辯論ヲシテ居、是ハ即チ法律ヲ知ラザル檢察正デアルト云フ所以デゴザイマス、我國ノ刑法三百九十條ニ何ト書イタル、明カナリ欺罔シ、又ハ脅喝シテ財物ヲ騙取セザレバ、詐欺取財ニナラヌト云フコトガ書イタルデア、明カナリ――實ニ堂々タル檢察正ト云フト、勿體ナイノデゴザイマス。ガ、靜岡裁判所ノ檢察正ガ、欺罔モナイ、脅喝モナイ、但詐欺取財デト云フガ如キ、隨分馬鹿氣ヲ辯論ヲ憶面モナク、訟廷ニ於テヤッタノデアリマス、而モ彼ハ到底不治ノ肺病患者デア、吾々ガ獅子ノ如ク猛リ廻ルト云フコトヲ見マシテハ、衷心頗ル憎ク、忌々シク思フト云フヤウナ思想ヲ持テ居ルト見ヘマシテ、屢々吾々ニ囁付カントスル危險ヲ有シテ居ルトコロノ狂犬ノ檢察正デゴザイマス、何トカ始末ヲ付ケテ貰ヒタイノデアル、私ハ本件――デハナイ、即チ本員ノ疑獄事件ニ於キマシテハ、靜岡ノトキノ警部長並ニ此土地ニ尙續イテ居ル檢察正、彼等ニ向テ當時十分ニ反抗シテヤラウト、一時ハ思ツタノデゴザイマス。ガ、イヤ、マダ吾々ハ落閣政府――落閣打撃ト云フ大ナル目的ヲ持テ居ル身體デア、處デ彼等ヲ相手ニシテ居ルガタメニ、落閣打撃ト云フコトヲ忘テハ相成ラヌ、恰モ忠臣義士傳ヲ讀ミマス。ト、彼ノ神崎與五郎ガ、遠州濱松即チ私ノ郷里ノ濱松ニ於テ、是ヨリ上京致シマシテ、吉良上野ノ屋敷ヘ斬入ラウトシテ、道中致シテ參ッタクハ、彼ハ濱松宿ニ於キマシテ、彼ノ馬喰ヒノ丑五郎ト云フ駕籠昇――デハナイ即チ雲助ノ様ノ馬子デゴザイマス、喧嘩ヲ吹ッ掛ケラレタコトガゴザイマス、此時分ニハ彼ハ大ニ耐忍ヲ致シマシテ、彼ハ喧嘩ヲ吹ッ掛ケラレテモ、相手ニ相成ラズ、遂ニハ訛證文マデ出シテ、サウシテ上京ヲ致シマシテ、吉良上野ノ屋敷ヘ斬入ッタノデア、ソレガタメニ宗徒ノ武士ニハ後レヲ取ラナカッタト云フコトガアル、此故事ヲ考出シマシテ、若モ彼等田舎ノ警部長ヤ、裁判所ノ檢察正ヲ相手ニ致シテ居テ、吾々民間ノ志士ノ大目的トスル落閣ヘ斬込ムコトニ後レテハ相成ラヌト云フノデ、今日マデ打撃デ、置イタノデゴザイマス。カ、今ハ落閣モ倒レテ、新ラシキ内閣ガ成立ッタノデゴザイマス。カ、此議會ニ於テ大イニ之ヲ論ジ、抑、私モ初メテ其ノ後議會ニ立ッタノデゴザイマス。カ、此議會ニ於テ大イニ之ヲ論ジ、大イニ新内閣ノ反省ヲ求ムルト云フコトハ、全ク必要已ムヲ得ザル次第ト考ヘテ、諸君ノ御迷惑ニモ拘ハラズ、長シキ演説ヲ致シタノデゴザイマス

〔御苦勞〕又「意外ニ早カッタ」ト呼フ者アリ

○議長（杉田定一君） 日程第一ト第七ハ同一ノ特別委員ニ付託シテアリマス。レ、併セテ委員長ヨリ報告ヲサセマス――栗原亮一君

第一 關稅定率法改正法律案（政府提出） 第一讀會ノ續（委員長）
（栗原亮一君登壇）
〔議長、今ノハ分リマセヌ〕「報告シタラ分ル」「分ッタク」ト呼フ者アリ

○島海哲四郎君 唯今ヨリ臺灣總督府鐵道部現金前渡官吏設置ニ關スル法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ、退席ノ許可ヲ請ヒマス

○議長(杉田定一君) 臺灣總督府鐵道部現金前渡官吏設置ニ關スル法律案ノ委員會ヲ是ヨリ開キタウト云フコトデアリマス、御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○栗原亮一君 關稅定率法改正法律案外一件ハ、明治三十三年法律第八十六號中改正法律案、是ハ内山吉太君其他ヨリ提出シテ居リマシテ、此改正法案ニ關聯シタモノデアリテ同一委員ニ付託サレマシタ、是ハ日程第七デアリマスケレドモ、此場合併テ報告ヲ致シマスル、此關稅定率法案ハ、農工商其他一般ノ利害ニ關係スルトコロノ重大ナル法案デアリマスカラ、委員會ニ於キマシテハ數回會ヲ重ネ、鄭重ニ調査ヲ遂ゲタデアリマスル、且又此問題ニ付キマシテハ各派ノ委員諸君トモ十分ナル協議ヲ盡シマシテ、一致ノ出來ル限リハ成ルベク一致ニ此修正案ヲ纏メタデアリマス、本案ハ先ヅ國庫收入ノ増加ヲ圖ルガためニ、一般ニ稅率カ是マデヨリハ増シテ居ルデアリマス、即チ此修正案ガ實行サレマスルナラバ、約二百五十萬圓ノ增收入ヲ得ルコトニナツテ居リマシテ、二十九年度ノ歲入ノ中ニモ、即チ今回提出シタ修正案ニ依リテ追加豫算二百萬圓ト云フモノガ、財源ニナツテ積ツデアリマス、本案ハ大ニ國庫ノ收入モ増シ、又一方ニ産業ノ獎勵發達ヲ圖ルコトニモナツテ居リマシテ、即チ第三條、第四條、第五條ノ如キハ、内國ノ産業獎勵ノ意味ヲ以テ出來テ居ルモノデアリマシテ、是マデノ關稅法ヨリモ面目ヲ革メテ、進歩ヲ爲シタモノデアリマス、且又此産業ヲ獎勵スルためニハ、幾分カ外國輸入品ト權衡ヲ取ツテ、稅率ヲモ高メテアルデアリマス、是マデハ從價稅ガ多クアリマシタケレドモ、從價稅ナルモノハ甚ダ弊害ガアリマスルカラ、成ルベク出來得ルモノハ、從量稅ト致スト云フコトガ、此改正案ノ一ノ趣旨デアリマス、ソレカラ隨分稅率ヲ高メシタモノモアリマスケレドモ、協定稅率ニナツテ居リマシテ、是ハ明治四十四年ニアラザレバ、之ヲ改正スルコトガ出來ナイデアリマスカラ、之ヲ今高メタコトガ實行ハ出來ヌデアリマスルケレドモ、併シ此法律ニ於キマシテハ、國稅定率ヲ定メ、一般ノ物品ニ付イテ權衡ヲ取ツデアリマシテ、協定稅率廢止ノ曉ニハ、此國稅定率ノ行ハル、ヤウニスルガためニ權衡上其稅率ヲ高メデアリマスル、此法案中ニハ協定稅率ノ物品モ多クアリマスルケレドモ、之ニ拘ハラズ、一般ノ權衡ヲ取ツテ國稅定率ノ標準ヲ立テラレデアリマス、ソレカラ非常特別稅ハ本期議會ニ於キマシテ、繼續ニナリマシタケレドモ、此關稅法案アルトコロノ非常特別稅急場ノ場合デアツテ、免三角物品ニ割付ケテ幾分カノ收入ヲ得ヤウト云フコトカラシテ、稅率ヲ増シタデアリマスカラシテ、之ヲ今日此儘ニ置クト云フコトハ、甚ダ國家ノ貿易生産上ニモ害ノアル譯デアリカラシテ、此非常特別稅ノ稅率ニ限ツテハ、之ヲ改正シ、或ハ廢止シタモノガアルデアリマス、但此中ニモ米及粉ト云フモノガアリマスルガ、之ハ非常特別稅ノ存續シテ居ル間ハ、矢張一割五分ノ稅ト云フモノノ通りニ掛ケテ置クト、斯ウ云フコトニ原案モナツテ居ルデアリマス、併シ原案ノ方デハ、是マデ米及粉ト云フモノハ無稅デアリマスルカラ、其稅目ノ方ニハ無稅トシテ、法律又ノ方ニ非常特別稅ノ中デモ、此米粉ダケハ此儘ニ置クト云フコトガ、法律文ノ中ニ加ヘテアツタデアリマス、是ハ法律文ニ加ヘテアリマシテモ、亦此稅目ノ方ニ置イテモ事實ハ同ジコトデアリマスケレドモ、段々委員會ニ於キマシテハ、議論ノ末、之ヲ法律文ニ入レズシテ、矢張稅目ノ方ニ一割五分ト入レテ、之ヲ永久稅ト認ムルコトニ致シタイト云フガ、多數ノ意見デアリマシテ、隨分此米ノコトニ付キマシテハ、之

ヲ永久稅ニスルコトハ宜シクナイト云フ議論モアリマシタケレドモ、併シ多數ノ意見ハ之ヲ稅目ノ中ニ入レテ、永久稅ニ認メルト云フコトハ、當然デアルト云フコトデアリマシテ、稅目ノ所ヘ一割五分ト云ウテ、之ガ從量稅トナツテ、這入ツタデアリマス、ソレカラ修正ノ重モナルトコロニハ、第七條ノ二十ト云フノガアリマス、其二十ノ次ニ斯ウ云フモノガ這入ツタ「國府縣市町村其他ノ公共團體ノ輸入スル種馬種牛及種豚」ト斯ウ云フ一項ガ加ハツタデアリマス、稅目ノ方ニハ牛馬各五分トアリマスケレドモ、種牛デアルトカ、此種ニ使フタメニ輸入スルモノハ、牧畜業ノ發達ノためニ之ヲ無稅ニ入レルコトニシタイト云フデアリマス、併シ牛ナドハ種ノミナラズ、食料トシテ輸入スルモノモアリマスカラシテ、此方ハ一割トシテ、但其種ニ使フモノニ限ツテハ之ヲ無稅トスルト云フコトニ修正シタデアリマス、ソレカラ第八條ノ輸入ノ日ヨリ六箇月云々トアルノ一箇年ト改メタデアリマス、其理由ハ外國カラシテ或ハ日本ニ羽二重ノ如キモノヲ持ツテ來テ繼續ヲスルトカ、此加工ヲ爲シ細工ヲスルためニ、日本ニ持ツテ來ル、サウシテ是マデハ一年間ハ其儘ニシテ置イテ、再び輸出スル物品ニハ輸入 稅ヲ免ズト云フデアリマシタケレドモ、今度ノ改正案デハ六箇月ト縮メラレタデアリマシテ、六箇月間ニ細工ヲシテ、又再び輸出スト云フコトハ、時間ガ乏シイカラシテ、矢張從來ノ通り一年トスルノガ當然デアルト云フノデ、一箇年ト修正シタデアリマス、第九條ノ第二項ニ「這入ツタ條文ガアリマス、即チ輸入原料品ヲ用フ命ヲ以テ指定シタル肥料ヲ製造シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ輸入稅ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得」ト斯ウ云フ文字ガ這入ツテ居リマスルガ、是ハ或ハ大豆ヲ輸入シテ油ヲ取ル、其糟ヲ以テ肥料ヲ造ルトカ、又紅茶ノ粉ヲ原料トシテ輸入シ、之ヲ磚茶ニ製造シテ、外國ニ輸出スルトカ、斯様ナモノガアリマスカラシテ、之ヲ再び海外ニ出ス時分ニハ、戻稅ヲスルト云フデアリマス、之ハ産業獎勵ノためデアツテ、彼ノ大豆ノ如キ、紅茶粉ノ如キハ、命令ヲ以テ戻稅ヲスル部分ニ入レルト云フコトガ、政府委員モ明言サレマシタ、第十條ノ「一ニ阿片及阿片吸煙具トアリマス、此阿片煙草ヲ飲ム道具デアリマス、是ハ禁制品トナツテ居ルデアリマスケレドモ、政府ハ阿片ヲ輸入スル必要モアリ」又臺灣ニハ此吸煙具ト云フモノガ這入ルデアリマスカラシテ、政府ニ輸入スルモノハ格別デアル、是ハ除クト云フコトニナツタデアリマス、第十二條ニ米及粉輸入稅ヲ除外云々トアリマスガ、是ハ法文ニ於テ、其儘ニ存スルト云フデアリマスケレドモ、法文ノ方ノ文字ヲ削ツテ、サウシテ此別表ノ方ヘ入レマシテ、先刻御報告申シタ通りニ、一割五分即チ從量ニ換算シテ每百斤六十錢トナツタデアリマス、ソレカラ此法文ノ中ニ「及第八十六號」ハ之ヲ廢止スルトアルヲ此ハ字ヲ削リ、之ヲ廢止セヌデアリマス、即チ此第八十六號ノ法律ハドウ云フモノデアルカト云フト、外國ヨリ輸入スル鹹魚及燻製魚ニ對シ、明治三十年法律第十四號關稅定率法ニ定メタル外、尙原價百分ノ五十以下ノ輸入稅ヲ賦課シ、魚粕ニ對シ原價百分ノ五十以下ノ輸入種ヲ賦課スルコトヲ得ルト云フ法文ガアリマシテ、是ハ露領ヨリシテ鹽魚、燻製魚ガ這入ツテ來ル、是ニハ高キ稅ヲ課シテ内地ノ漁業ヲ保護スルコトニナツテ居リマスガ、此原案デハ此法律ヲ廢シテ第四條ニ於テ此精神ヲ達スルト云フコトデアリマシタケレドモ、矢張今日ハ此法律ヲ尙存續スルノ必要ガアルカラシテ、原案ニハ八十六號ヲ廢止スルトアルケレドモ、之ヲ廢セナイデ、矢張其儘ニ置クト云フコトニナツタデアリマス、即チ之ニ關聯シテ法律第八十六號中改正法律案ガ茲ニ出テ居ルデアリマス、此法律案ハ至ッテ簡單ナモノデアリマシテ、「明治三十六年法律第十四號」ト云フ文字ガアリマス、即チ此法律ハ古イ方ノ關稅法デアリマシテ、今回新タニ此法律ガ制定サレマスルト云フト、三十年法律第十四號ト云フモノハナクナルデアリマスカラシテ、此文ヲ削ツテソレダケヲ

修正致シテ、露領ヨリ來ルトコロノ魚ニ對シテハ、高キ稅ヲ課スルト云フノ法律ヲ失張
元ノ通りニ存續シテ置クト、斯ウ云フコトデアリマス、即チ第七ノ日程ニアルトコロノ法
律デアリマス、茲ニ併セテ報告ヲ致スデアリマス、ツレカラ修正ニナリマスモノヲ逐
一申シテハ長クナリマスカラシテ、ツレハ諸君ノ御手許ニ同デ居ル修正案ニテ、御承知
ノ事ト存シ、極ク要領ヲ握ラシテ、茲ニ御報告致スデアリマス、第三類ノ紅茶粉、
是ハ先刻申シマス通り之ヲ原料トシテ、製品ヲ造ラシメタル場合ニハ第九條ノ一項ヲ適用シ
テ、戻稅ヲスルデアリマス、亦原料トシテ用ヰズ、之ヲ直チニ飲料ニ使フモノ
アリマス、斯ウ云フハ他ノ物品ト比例ヲ取リマス、原案ニ二割五分デアリマスケレ
ドモ、四割五分トシナケレバ、他ノ物品トノ權衡ヲ失ヒマス、原料ニシナイ分ハ高イ
稅ニ致シテ、四割五分、即チ原案ニ二割五分ヲ從量每百斤一圓七十錢ト致シマス、
第四類ノ四十八、砂糖デアリマス、是ハ委員會ニ於テ種々議論ハゴザイマシタケレドモ、
結局原案ノ通り委員會ニ於テ可決致シマス、第十五類ノ六十四、酒精、每「リートル」
五十八錢トアルヲ六十五錢ト高メマス、是ハ北海道其他内地ニ於テモ「アルコール」
製造ガ進デ參リマス、幾分カ獎勵スル意味ヲ以テ稅率ヲ高メタデアリマス、其次
ニ變性酒精ト云フノガアリマス、是モ同ジ趣旨ヲ以テ五十八錢ヲ六十五錢ニ修正
致シタデアリマス、甘精「サツカリ」是ハ甘味ヲ強イモノデアリマス、是ガ段々輸入
シテ參リマス、砂糖ノ代用ヲ致シテ、終ニハ砂糖ノ消費ト云フモノガ減ジテ來タ時分
ニハ國庫ノ歲入ニモ影響シマス、ドウシテモ此輸入品ハ制限シナケレバナラヌト云フ
ノデ、原案ハ每百斤二十圓トアリマスケレドモ、是ハ二種糖ノ糖分ト比較シテ、五百倍
以上ノ甘味ガアルト云フ、非常ナ甘イモノデアアル、ツレデハ六十圓位ニシナケレバ、平衡ヲ
得ナイカラ、是ハ原案ヨリ三倍ニナタデアリマス、酒精劑ハ每「リートル」五十八錢デ
アツタノヲ是モ六十五錢ト致シマス、其他亞麻子油、是モ原料品デ、每百斤一圓六十錢
トアルヲ一圓ト低クメタデアリマス、ツレカラ石油ノ方ニ三ノ重油ト云フノガアリマス、是
ガ每百斤八十五錢トアルヲ一圓二十錢ト致シマス、是ハ外國カラ這入ルノモアリ、内
地產ノモアリマス、内地ノ產業ヲ獎勵スルト云フ意味ヲ以テ、其稅率ヲ上デタデア
リマス、ツレカラ「バラフ井ワックス」ト云フモノガアリマス、是ハ燐寸ノ原料ニナルモノデア
ルサウデ、實際日本ニハ未ダ燐寸ヲ製造スル者モアツタ燐寸ノ原料トスルノミナラ
ズ、之ヲ以テ蠟燭ノ原料ニモスルサウデアリマス、此内地ノ木蠟ヲ幾分カ保護獎
勵スルタメ燐寸ノ原料ナルモノハ無稅ニ致シ、即チ融解點攝氏五十度未滿ノモノハ無稅
トシ其他每百斤一圓二十錢トシ、一割ノ稅ニシタデアリマス、ツレカラ第九類ノ天然
藍、人造藍ト云フモノガアリマス、是モ阿波アタリデハ隨分獎勵スレバ多ク出來ルモノデ
アリマス、之ヲ發達獎勵セシムルタメ稅率ヲ二割ニ引上ゲタデアリマス、其從量
割合ハ御手許ニアル書類ニ詳ニアリマス、是ハ申シメヌ、ツレカラ鉛粉、白色亞鉛
粉ト云フモノガアル、是ハ「ペンキ」ノ原料ニナルモノデアリマス、内地ニモ出來ルサウデア
リマス、之ヲ獎勵スルタメ一割ヲ上ゲマス、其割合ハ御手許ノ書面ニ書イデアリマス
カラ、略シマス、第十類ノ生皮、鬚斗絲及屑絲、是ハ原案ニ一割五分デアリマス、
繭毛無稅トナデアリマス、此等ハ皆無論原料デアリマス、繭毛比例ヲ取デ無稅トシ
タデアリマス、ツレカラ此委員會ニ於テ最モヤカシカッタハ、印刷料紙ノ問題デアリマ
シタ、新聞紙等ニ用ヰル紙其他色ノ種類ガアリマス、之ニ付イデハ種々議論ノ末、結局
斯ノ如キ修正ガ成立タデアリマス、一枚千零八十六方「インチ」ヨリ少ナカラサルモノ五
百枚毎ニ四十五「ポンド」以下ノ重量ヲ有スルモノ、是ハ主トシテ新聞紙用ニナル紙デア
ルサウデアリマス、此方ハ從價一割ト云フコトニ致シテ尙高價ナル上等ノ紙ガアリマス

ヲ、其他ノ分ハ從價一割五分ト云フコトニ此ニツニ分ケマス、ツレカラ其他ノ紙類ト
云フトコロニ從價四割トアリマス、紙ノ製品ガ三割デアルノニ、只ノ紙ヲ四割トスル
ハ不權衡デアルト云フデア、四割ヲ修正致シテ、二割ト致シタデアリマス、ツレカラ鐵
類ノ方ニハ大變修正ガアリマス、鐵ノ條及竿、ツレカラ線及條竿、是ハ原案ニ於テハ二割トナ
ケラ申シマス、鐵ノ條及竿、ツレカラ線及條竿、是ハ原案ニ於テハ二割トナケラ申シマス、
是ガ三割デアツテ、其他ノモノガ二割五分トナデ居ル、孰レカ是ハ權衡ヲ得ネバナ
ラ、是等列記シテアルトコロノ鐵ノ製品ト云フモノハ、近イ中ニ製鐵所ニ於テ出來マス
ト云フコトデアリマス、是ノ如キモノハ成ルベク之ヲ獎勵スルタメニハ、二割五分ヨリモ
三割トシタ方ガ、製鐵事業ノ成立チ易イ譯デアアルカラ、三割ト云フ方ハ權衡ヲ取ツテ、大
抵皆之ヲ三割ニ修正致シテ、從量稅トシタル譯デアリマス、第十六類ニ「クラウンコルク」
ト云フノガアリマス、是ハ平野水テドノ口ニスルモノデ、外國ノ專賣特許品デアリマス、内
地ニハ出來マセヌカラ、平野水等ノ輸出獎勵ノタメニハ廉クシタ方ガ宜イト云フノデ、每
「グロウ」二十錢ヲ十錢ニシタデアリマス、ツレカラ第十九類ニ屑護謄及故護謄ト云フ
モノガアリマス、斯ウ云フモノハ原料品デアリマス、原案每百斤九十八錢トアリマス、
レドモ、是モ事業獎勵發達ノ意味カラ無稅ニスル方ガ、適當デアラウト云フノデ無稅ノ
方ニ修正シタデアリマス、以上ノ修正案ハ大抵各派ノ委員諸君トモ協議ヲ盡シテ、
茲ニ成立タデアリマス、之ヲ御報告致シマス、尙御審議ヲ願ヒマス
○議長(杉田定一君) 採決致シマス、本案ニ付イテ二讀會ヲ開クベシト云フニ御異
議ハアリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス
○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開クベシト望ミマス
○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ
○議長(杉田定一君) 御異議ナシト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス、全部ヲ議
題ト致シマス

關稅定率法改正法律案

第二讀會

(政府委員若槻禮次郎君登壇)

○政府委員(若槻禮次郎君) 委員會ハ修正案ハ一點ヲ除キマシテ、其他ハ總テ適
當ナル修正ト考ヘマス、其點ト申シマスハ、印刷料紙ノトコロデアリマス、是ハ協定稅率
ヨリモ尙下ルヤウ修正ニナデ居リマス、今回ノ發案ハ外國輸出品或ハ原料品デア
リマセヌ、サウ云フヤウ修正ヲ致サヌコトニナデ居リマス、是ハ餘リ面白クナイト思ヒ
マス、成ルタケ此點ハ原案ニ贊成セラレンコトヲ希望シマス
○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、別段反對ノ意見モアリマセヌデ、全部ヲ一括
シテ採決致シマス、委員長報告通り決シマス、御異議ハゴザイマセヌカ
○議長(杉田定一君) 御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、委員長報告通り決シマス
○議長(杉田定一君) 直チニ三讀會ヲ開イテ確定セラレンコトヲ望ミマス
○議長(杉田定一君) 聲起ル

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通り、直チニ三讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセ
ヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ三讀會ヲ開キマス

關稅定率法改正法律案

第三讀會

○議長(杉田定一君) 二讀會決議ノ通りテ御異議ガアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ

(拍手起ル)

○議長(杉田定一君) 報告ガアリマス

(書記朗讀)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

○元田肇君 唯今政府ヨリ提出ニナリマシタコロノ法案ハ、頗ル簡單ナモノデアリマシテ、刑ノ執行ヲ猶豫ニナタモノガ、其儘或ハ市ノ名譽職トカ、公民ノ名譽職トカニ居ルト云フコトハ、行政事務ノ級上ニ宜シクナイカラ、其猶豫中ハ停止スルガ宜カラウト云フ案デアリマス、是ハ刑ノ執行ヲ猶豫ノ法律ガ出タト同時ニ、實ハ發布セラレベキモノデアラウト思慮致シマス位ノ簡單ナ法律デアデ、且急グモノデアリマスカラ、此場合日程ヲ變更サレテ、直チニ委員ニ移サウナ、第一讀會ノ始リヲシタイと思ヒマス

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 元田君發議ノ通り刑ノ執行ニ關スル法律案ヲ緊急動議トシテ、此際日程ヲ變更シテ議スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス是ヲ問題ト致シマス——議案ノ朗讀

刑ノ執行ヲ猶豫セラレタルモノ、公民權及議員選舉權被選舉權ニ關スル法律案

(書記朗讀)

明治三十八年法律第七十號ニ依リ刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル者ハ其ノ猶豫期間市町村ノ公民權ヲ停止シ市町村會議員北海道會議員及衆議院議員ノ選舉權被選舉權ヲ有セサルモノトス

○元田肇君 九名ノ委員ニ付託スルコト、致シマシテ、議長ヨリ指名セラレンコトヲ希望致シマス

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 元田君發議ノ通り議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第二、明治三十八年法律第七十號中改正法律案、本案ハ昨日採決ノ結果、少數ト議長ハ宣告ヲ致シマシタコロガ、異議ガアリマシテ、其結果記名投票ヲ以テ採決ヲスルト云フコトニ宣告ヲ致シマシタガ、其宣告ノ際定數ヲ缺イテ居リマシタデ、延期トナタノデアリマス、因テ此記名投票ハ取消シテ、更ニ起立ヲ以テ採決ヲ致サウト思ヒマス、諸君御異議ハアリマセヌカ

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第二、明治三十八年法律第七十號中改正法律案、本案ハ昨日採決ノ結果、少數ト議長ハ宣告ヲ致シマシタコロガ、異議ガアリマシテ、其結果記名投票ヲ以テ採決ヲスルト云フコトニ宣告ヲ致シマシタガ、其宣告ノ際定數ヲ缺イテ居リマシタデ、延期トナタノデアリマス、因テ此記名投票ハ取消シテ、更ニ起立ヲ以テ採決ヲ致サウト思ヒマス、諸君御異議ハアリマセヌカ

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第二、明治三十八年法律第七十號中改正法律案、本案ハ昨日採決ノ結果、少數ト議長ハ宣告ヲ致シマシタコロガ、異議ガアリマシテ、其結果記名投票ヲ以テ採決ヲスルト云フコトニ宣告ヲ致シマシタガ、其宣告ノ際定數ヲ缺イテ居リマシタデ、延期トナタノデアリマス、因テ此記名投票ハ取消シテ、更ニ起立ヲ以テ採決ヲ致サウト思ヒマス、諸君御異議ハアリマセヌカ

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第二、明治三十八年法律第七十號中改正法律案、本案ハ昨日採決ノ結果、少數ト議長ハ宣告ヲ致シマシタコロガ、異議ガアリマシテ、其結果記名投票ヲ以テ採決ヲスルト云フコトニ宣告ヲ致シマシタガ、其宣告ノ際定數ヲ缺イテ居リマシタデ、延期トナタノデアリマス、因テ此記名投票ハ取消シテ、更ニ起立ヲ以テ採決ヲ致サウト思ヒマス、諸君御異議ハアリマセヌカ

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第二、明治三十八年法律第七十號中改正法律案、本案ハ昨日採決ノ結果、少數ト議長ハ宣告ヲ致シマシタコロガ、異議ガアリマシテ、其結果記名投票ヲ以テ採決ヲスルト云フコトニ宣告ヲ致シマシタガ、其宣告ノ際定數ヲ缺イテ居リマシタデ、延期トナタノデアリマス、因テ此記名投票ハ取消シテ、更ニ起立ヲ以テ採決ヲ致サウト思ヒマス、諸君御異議ハアリマセヌカ

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第二、明治三十八年法律第七十號中改正法律案、本案ハ昨日採決ノ結果、少數ト議長ハ宣告ヲ致シマシタコロガ、異議ガアリマシテ、其結果記名投票ヲ以テ採決ヲスルト云フコトニ宣告ヲ致シマシタガ、其宣告ノ際定數ヲ缺イテ居リマシタデ、延期トナタノデアリマス、因テ此記名投票ハ取消シテ、更ニ起立ヲ以テ採決ヲ致サウト思ヒマス、諸君御異議ハアリマセヌカ

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第二、明治三十八年法律第七十號中改正法律案、本案ハ昨日採決ノ結果、少數ト議長ハ宣告ヲ致シマシタコロガ、異議ガアリマシテ、其結果記名投票ヲ以テ採決ヲスルト云フコトニ宣告ヲ致シマシタガ、其宣告ノ際定數ヲ缺イテ居リマシタデ、延期トナタノデアリマス、因テ此記名投票ハ取消シテ、更ニ起立ヲ以テ採決ヲ致サウト思ヒマス、諸君御異議ハアリマセヌカ

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第二、明治三十八年法律第七十號中改正法律案、本案ハ昨日採決ノ結果、少數ト議長ハ宣告ヲ致シマシタコロガ、異議ガアリマシテ、其結果記名投票ヲ以テ採決ヲスルト云フコトニ宣告ヲ致シマシタガ、其宣告ノ際定數ヲ缺イテ居リマシタデ、延期トナタノデアリマス、因テ此記名投票ハ取消シテ、更ニ起立ヲ以テ採決ヲ致サウト思ヒマス、諸君御異議ハアリマセヌカ

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、九名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第二、明治三十八年法律第七十號中改正法律案、本案ハ昨日採決ノ結果、少數ト議長ハ宣告ヲ致シマシタコロガ、異議ガアリマシテ、其結果記名投票ヲ以テ採決ヲスルト云フコトニ宣告ヲ致シマシタガ、其宣告ノ際定數ヲ缺イテ居リマシタデ、延期トナタノデアリマス、因テ此記名投票ハ取消シテ、更ニ起立ヲ以テ採決ヲ致サウト思ヒマス、諸君御異議ハアリマセヌカ

第二 明治三十八年法律第七十號中改正法律案(國 前會ノ續 井庫君外一名提出)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、然ラバ起立ヲ以テ採決ヲ致シマス、本案ニ讀會ヲ開クベシト云フ御方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數デアリマス、二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

(拍手起ル)

○望月長夫君 直チニ三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 望月君發議ノ通り直チニ二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス

明治三十八年法律第七十號中改正法律案

(委員長報告通りト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 委員長報告通り決シマシテ、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、委員長報告通り決シマシタ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○望月長夫君 直チニ三讀會ヲ開クベシト云フ御方ノ起立ヲ願ヒマス

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 望月君發議ノ通り、直チニ三讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ三讀會ヲ開キマス、二讀會決議ト確定シテ御異議アリマセヌカ

明治三十八年法律第七十號中改正法律案

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定致シマシタ——日程第三、新聞紙條例中改正法律案、第一讀會ノ續、委員長報告、横井時雄君

第三 新聞紙條例中改正法律案(横井時雄君外三名提出)

(横井時雄君登壇)

○横井時雄君 諸君、唯今新聞紙法中改正法律案ノ委員會ノ御報告ヲ致シマス、此法律ノコトニ付キマシテハ、委員會ニ於キマシテ再三會議ヲ開キ、種々協議ヲ重ネマシタル結果、遂ニ諸君ノ御手許ニ提出シタルコトヲ修正案ニ決定ヲ致シマシタ次第デアリマス、私ハ提出者ノ一人デアリマシタガ、其修正案、大要ハ即チ茲ニ提出シタル議案ニ改正案ノ大要ト異ルトコロナイト云フコトヲ認メマシタガ故ニ、即チ此修正案ニ同意ヲ表シテ而シテ委員會ヲ代表シテ御報告申上ゲルノミナラズ、又提出者ノ一人タル其精神ヲ以テ諸君ニ此御報告ヲ申上ゲルノデアリマス、今此修正案ニ變リマシタ大要ハ、即チ其形ガ變タノデアリマシテ、前ハ新聞紙條例中改正法律案デアリマシタガ、今此所ニ現ハレテ居ルモノハ、即チ單獨法ノ形ニ變テ居ルノデアリマス、其大趣意ハ

「新聞紙二掲載スル目的トスル電信電話ノ事項ニ關シ受信者ノ承諾ナクシテ之ヲ新聞紙中ニ掲載シ若ハ掲載スル目的ヲ以テ其事項ヲ他ニ通信シタル者又ハ電文ヲ抄略シ若ハ字句ヲ變更シテ掲載シ若ハ通信シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ受信者ノ承諾禁止ノ旨ヲ明示シテ其電信電話ノ事項ヲ新聞紙ニ掲載シタル場合ニ限リ二十四時間以内ハ轉載ヲ許サ、ルモ他ハ此限ニアラス」前項ノ事項ヲ新聞紙ニ掲載シタル場合ニ於テハ其編輯人ヲ處罰ス」前二項ニ於テハ受信者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス」斯ウナリテ居リマス、今極ク簡單ニ此法案ノ趣意ヲ諸君ニ申上テ見タト思ヒマス、ソレハ御承知ノ如ク近來吾國ハ我國ハ極東ノ清韓諸國ハ固ヨリ、歐米諸國ニ對シテ、非常ニ頻繁ナル交際ヲ持ツトニナリマスガタメニ、此新聞事業ノ如キモ、外國ノ電信ヲ取ルト云フコトが十年前ニ殆ド夢ニモ思ハナカッタ程ノ盛大ヲナシ居ルノデアリマス、殊ニ此度ノ日露戦争ノ如キハ、此海外電報事業ガ、非常ニ發達シタルデアリマス、其事ハ申上ゲルマデモナク、諸君ノ御承知ノ通りデアル、併ナガラ今日迄我國ガ外國ヨリ我國ノ新聞紙ガ外國ヨリ電報ヲ取ツタ、其料ヲ以テ之ヲ外國ノ諸新聞ガ、此東洋諸國ヨリ通信ヲ取ツテ居リマス、電報ヲ取ツテ居リマス其料ニ比較スルトキニハ、實ニ二分ノ一ニモ當ラヌト申シテ必シモ不當デアアルマイト私ハ思フデアル、試ニ彼ノ日本海ニ於ケル戦争ノトキニ、如何ニ長キ電報ヲ東京ニアルコロノ英吉利、亞米利加ノ通信者ガ送ツタカト云フコトハ、殆ド吾々ノ想像ニ及バザル程ノコトデアリマス、ソレデ我國ニ於キマシテモ、此後益々此通信社又ハ各新聞社ノ外國電報事業ト云フモノヲ發達致シマシテ、サウシテ通信ヲ俟タズシテ大體ノ出來事ハ、殆ド遺憾ナク此國ニ即日ニ達スルヤウニ發達セシメナケレバナラヌト思フノデス、即チ是ガ外交上、通商上、及國民ノ此文明ニ發達シテ往ク上ニ於テハ、最も必要ナル事業ノ一ツデアラウト思フデアラ、即チ諸君モ御同感デアラウト思フ、然レ今日我國ノ各社ノ通信事業ノ狀態ニ付テ見マスルナラバ、特電ヲ取リ、若クハ特約ヲ以テ外國ヨリ取ル電報、其電報ヲ種々様々ニ形ヲ變ヘテ、或ハ其儘ニナツテ、サウシテ直チニ他ノ新聞ニ掲載セルト云フヤウナ有様ニナツテ居ルデアリマス、今ノ現狀ハドウシテモ之ヲ取締ルコトガ出來ヌデアリマス、之ヲ取締ルコトガ出來ヌト云フノハ、此委員會ニ於テ、吾々ノ提出シタル原案ニ反對ヲナサレタコロノ諸君モ、御承知ノ通りデアリマス、是ハ事實デアルカラ、否ムベカラザルコトデアリマス、サレバドウシテモ此各社ノ外國電報ヲ保護シナケレバ、此事業ハ發達シナイノデアル、之ヲ保護シテ居ルカラ、英吉利アメリカデモ發達シテ居ル、又亞米利加アメリカデモ發達シテ居ルデアラ、之ヲ保護シナケレバ、ドウシテモ此事業ガ我國ニ發達スル譯ニイカヌデアリマス、或ハ人ハ是ハ公益ヲ目的トスルモノデアルカラ、各新聞社ニ來ルトコロノ通信ガ、直チニ他ノ新聞紙ニ現ハレテ往クト云フコトガ、即チ文明ヲ擴ムル所以デアハナリカト云フコトヲ言フ人ガアリマス、成程一面ヨリ見レバ、サウ云フ風ニモ見エマスガ、併シ文明ヲ擴ムル所以ハ、實ニ報告ガ他ニ傳ハルノミナラズ、善キ報告、詳シキ報告、十分ナル報告ノ我國ニ來タルト云フコトガ、是ガ公益ヲ擴ムル第一デアル、善キ報告來ラズ、詳シキ報告來ラズ、十分ナル報告來ラズト云フコトデアラ、如何ニ文明ヲ擴メヤウトシテモ、之ヲ擴ムルコトガ甚ダマイモノデアル、ソレ故ニ此法案ノ目的ハ、各社ニ來タコロノ外國電報ヲ、マダ其新聞ニ掲載ナイ以前ニ、他ノ社ニ取ラレナイヤウニ、保護スルコト云フコトガ、第一ノ目的デアリマス、第二ガ其新聞社ガ新聞ニ載セテカラ、他ノ新聞ニ轉載スルコト云フナラバ、二十四時間以内ハ他ノ新聞ニ轉載スルコトガ出來ヌ（其起算點ハドウスルカ）ト呼フ者アリ、他ノ點ニ付テハ、全ク自由デアラ、ドコノ新聞ガイツ取ツテ掲載シテモ、一向差支ナイノデアリマス（東尾平太郎君、議論ハ後述ニシテ、

委員會ノ報告ヲシナサイ）ト呼フ）議論ヲスルノデアリ、説明ヲシナケレバ諸君ガ分ラヌカラ、詳シキ報告スルノデス（經過ノ報告ア宜イ）ト呼フ者アリ、或人ガ若シ此新聞社ガ取ツタ電報ヲ其新聞紙ニ掲載ナイ場合ニ、之ヲ他ノ新聞紙ガ竊シテ出セバ、國家ノためニナルデアハナリカト云フコトヲ言フ人ガアリマスガ、態、外國カラ取ツタ電報ヲ新聞ニ載セナイト云フ、ソレナク思フコトヲスル新聞社ハアリマスガ、月ニ何百圓、年ニ何千圓ト云フ大金ヲ投ジテ取ツタ電報ヲ自分ノ新聞ニ載セナイ前ニ、是ヲ他ノ新聞ニ竊シテ載セルト云フ必要ハ、毫モナイト思フ、ソレ故ニドウカ諸君ニ於キマシテハ（委員會ハドウダト呼フ者アリ）委員會ニ於テハ、多數ヲ以テ極メタコロノ此修正案ニ滿場一致ヲ以テ御同意下サランコトヲ希望致シマス

（「ノウ」）ト呼フ者アリ、發言ヲ求ムル者多シ）
○議長（杉田定一君） 大岡育造君
○福井三郎君 議長、福井
○議長（杉田定一君） 大岡君ニ發言ヲ許シマシタ
（大岡育造君登壇）
○大岡育造君 諸君、私ハ唯今ノ委員長ノ報告ニ對シテ遺憾ナガラ反對ヲ致スモノデアリマス（「ヒヤ」）ト呼フ者アリ）委員長ガ報告セラレタル通り、元ト是ハ新聞紙條例中ノ改正法律案デアッタノデアリマスガ、サスガ新聞紙條例ト較ベテ見ルト、斯ウ云フモノハ附ケ足シニクイト見エテ、全ク別ナ案ヲ提出シマシタ、即チ名ケテ新聞紙二掲載スルヲ目的トスル電信、電話事項ニ關スル法律案ト（笑聲起ル）是ガ此法律案ノ名前ニナツテ居ルデアリマス、餘程ムツカシイ一體表題デアリマスガ、免ニ角斯ウ云フモノニナツテ、所謂新聞紙條例トハ離レテシマウタ、サウシテ何ヲスルカト云ヘバ、新聞紙二掲載スルヲ目的トスル電信電話ヲ新聞紙ニ掲載ナイ前ニ載セタモノ、若クハ掲載タ後二十四時間以内ニ載セタモノニハ、省略シタモノデモ何ンデモ、二百圓ノ罰金ヲ科スル、是ガ文明事業ノ進歩ヲ助ケル所以デアルト云フ御説明デアッタ（横井時雄君「以下デス」ト呼フ）以下デモ宜イ、或ハ廉イモノモアラウガ、三百圓マデハカケラレト云フコトニナツテ居ル、委員長ノ御説ノ如ク近來ハ非常ニ新聞事業ガ發達シテ參ッタノデアリマス、從テ通信ニモ各競ウテ費用ヲ投ジマス、故ニ此通信ニ對シテ、御互ニ德義ヲ重シテ往カナケレバナラヌコトハ申スマデモナイコトデアリマス、併ナガラ我日本ノ新聞紙ガ發達シタリ、通信社ガ發達シタリトハ言ヘ、世界ノ各地ノ各方面ニ於テ、派出員ヲ出シテ、是カラ電信ヲ取ル、電話ヲ取ルト云フマデニハ、進歩シテ居ラヌデアリマス、ソレデ此事ノ實際ヲ考ヘテ見マスレバ、斯ウ云フ窮乏ナル法律ヲ行ツタナラバ、ドウナルコト云フコトデアリマス、實ニ私ハ回想シテ見マスルニ、日露戰役ノ場合ニ於テ、非常ニ皆早キ競争シマシタ、到底戰地ニ派シテアル新聞ノ通信員、委託シテアル通信社員ノ通信ヲ待ッテ居ル暇ガ無イノデス、互ニ夜モ寝ズニ競争シテ、號外デモ出シマスルトキハ、非常ニ苦心シテ實ハ申シクイコトデアハルガ、餘程高イ所ニモ人ヲ置イテ居ル、或ハ外國カラ來ル通信員ハ、新聞社ヨリモ各會社杯ノ方ハ早ク來ル、又東京デ重ナル新聞社ナルモノハ、皆「ルーター」電報ヲ取ツテ、之ヲ掲載セルハ、是ハ一通リシテ居リマスケレドモ、一通リ來電信デハ、其新聞社ノ働ニナラナイ、又讀者ノ迎ヘル所トナリマセヌカラ、ソレヨリ以上皆競争シテ居ル、ソレデアルカラシテ實ハ指シクイ高イ所ヘ來タ話ヲ聞イテ、直グ之ヲ號外ニ出スコトモアル、又新聞社デマダ請取ラナイモノハ、會社ニ來タモノヲ聞イテ、直グ之ヲ號外ニ出スコトモアルノデス、併ナガラ後トカラ新聞社ニツレガ來ルコトガアル、或ハ開クコトガアルデス、早ク來タキニ之ヲ發表シタ後ニ何ト云フ通信社、若クハ新聞社

ニ之が到着シタトキニ、マダ新聞紙ニ掲ゲナイ前ニ出シタト云フヲ以テ訴ヘラレル、此訴ノ時分ニ證明が出来レバ宜イガ、證明が出来ナイトキハ、困リマス、戰時通信ハ想像ノヤウニ諸君ハ思フカ知ラヌガ、宮中へ一番先ニ來ルカラ、此邊カラ新聞紙杯ハ開出シタモノアル、ソレヲ證明シヤウト云フモ出来マセヌ、又會社デモ重役カラ開出シタ時分ニ、重役ハ證明シテ呉レマセドモ、書記以下ノ話ヲ聞イテ出シタトキハ、書記が過チニナリマスカラ、是ハ證明シマセヌ、サウスルト罰セラレナケレバナラヌト云フコトニナリ、モウ一ツ此事情ヲ詳シク言ヒマス、日露戰爭ノ場合ニ、軍ニ通信者ヲ出シマシタケドモ、一軍ニ付イテ一人シカ通信員ハ許サレナイ、サウデナイ、一軍ニ付イテ東京中ノ各社ヲ皆一人ア、許サカト云フト、サウデナイ、一軍ニ付イテ四五人ア、シカ許サナイ、願ヒサヘスレバドノ軍デモ新聞紙ニ許スト云フコトデナイ、是ハ諸君モ御承知デアラウ、陸軍當局者モ必ズ知ッテ居ルコトデアル、サウスレバ是ハ各社ガ自己ノ通信ヲ皆持ツト云フ譯ニ往カナイ、斯ウ云フ事情ガアッテ、餘程ムヅカシイデス、ソコデ又モウ一ツ例ヲ考ヘテ見ルト、諸君ニハサウ云フコトハ假リニ無イトシテモ、東京ニ何事カアッテ、新聞紙ニ號外ガ出テ、ソレヲ早ク知ラシテヤラウト思フテ、地方ニ知ラセ、之ヲ聞イテ地方ノ新聞紙ハ號外ニ出シマス、サウシテハ二二十四時間以内デアッタトキニハ、其地方ノ新聞紙ハ號外ニ出シタ時分ニ、新聞紙ノ承諾ヲ得タト云フ證明が出来マセウカ、ソレハ素人カラ聞イタノヲ出シタト言ヒマセウガ、東京ノ何ト云フ新聞ノ號外ヲ種ニシタノデ、此號外ヲ出シタ社カラモ承諾ヲ得タノデナイト云フテ、二十四時間以内デアッタトキニハ、罰セラレナケレバナラヌト云フコトニナリ、是ノ如キ危險ナ法律ヲ今日布ク必要ガドコニアリマス、世ノ中ヲ何故サウ狹クシナケレバナラヌノデアリマセウカ、是ハ餘程考物デアル、日本ノ新聞社ガ百萬圓若クハ二百万圓ノ資金ヲ積ンデ、ドコニデモ通信員ヲ派シテ置クモツトスレバ、ソレデ宜イケドモ、マダサウマデ進歩シテ居ラナイトキハ、二十四時間以内禁轉載——二十四時間ト云フハ昔ノ時間デ、今日電信電話ノアルノニ、一日後ナラバ掲ゲテモ宜イト云フガ、ソナハ馬鹿氣ヲ新開ハ、地方ニモ無イト思フ、提案者ガ誠ニ親切ニ文明事業ヲ助クルタメニ立テラレタ法律ノ趣意ハ、私ハ感心致シマス、日本ノ通信事業、日本ノ新聞等ノ設備ガ、今日ノ狀態ニ在ル間ハ、此法律ハマダ實行シ難イト思ヒマス、二讀會ヲ開クベカラズト決セラレコトヲ希望シマス

〔早速整爾君登壇〕

〔簡單ト呼フ者アリ〕

○早速整爾君 無論簡單デアリマス、諸君、私ハ此案ニ對シテ贊成ノ意見ヲ簡單ニ申述ベヤウト考ヘマス、(ヨセ)「謹聽」ト呼フ者アリ(ヨス)必要ハナイ、矢張言フ必要ガアル、先刻横井君カラ此案ノ大體ノ精神ニ付イテハ御辯明ニナッタノデアリマスガ、一體此新聞紙ト云フモノハ社會公共ノ機關デアルカラ、總テ此電信、電話ノ如キ報道ヲ主トスルモノハ、矢張一般ニ治ク及フヤウニスルガ宜イト云フ説ガアッテ、是ガ諸君本案ニ反對スル一ツノ理由ニナッテ居ルヤウデゴザイマス、如何ニモ新聞紙ト云フモノハ公共ノ機關デアルニ相違ナイケドモ、併シ矢張是ハ私人ノ一ノ經營ニ屬スルモノデゴザイマシテ、普通ノ商業トハ趣ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、ケレドモ矢張新聞ノ事業ト云フモノハ、一種ノ營業ニハ相違ナイノデアル、殊ニ大岡君ノ御述ベニナッタ如ク、新聞ノ事業ニ付イテハ非常ナル競争ガアル、即チ事實ヲ早ク報道シヤウ、速ニ之ヲ社會ニ報道シヤウト云フ上ニ付イテハ、非常ノ競争ヲシツ、アルノデアル、此新聞社會ノ事業上ノ競争ト云フモノハ、最モ甚シイノデアル、此競争ガ甚シイ上カラ考ヘマシテモ、即チ其新聞社ノ特長ヲ發揮スル所以ノ記載事項ニ對シテハ、無論相當ニ保護スル道ガナケレバナラヌト私ハ考

ヘルノデアリマス、電信、電話——非常ニ多額ノ金ヲ費シテ、一ノ新聞社ノ特長ノ記載事項トシテ之ヲ新聞紙ニ掲ゲル、此特長ノ記載事項ニ對シテ、相當ニ之ヲ保護スル道ガ立ッテ居ナカッタナラバ、新聞社ト云フモノハ他ト競争スルニ於テ非常ナノ利益ノ地位ニ立タナケレバナラヌノデアル、前申ス如ク公共ノ機關デアルケドモ、亦特殊ノ營業デアルカラ、澤山金ヲ掛ケテ、電信、電話ヲ取ル、之ヲ一ツノ新聞ノ特長ノ事項トシテ、新聞ニ掲ゲル、ソレガ何時ノ間ニカ、泥棒ニ逢ッテ、勝手ニ之ヲ盜シテ、外ノ新聞ニ掲載シテ居ル、サウシテ此新聞社ガ此競争ノ激シイ中ニ立ッテ、報道ヲ速ニシテ、サウシテ、自分ノ新聞ノ事業ノ特長ヲ示スコトが出来ルデアリマセウカ、新聞社ノ競争ノ内幕ニ付イテ御話シヤシテ見ルト、ソレハイロ／＼滑稽ノ話ガアル、自分ノ新聞社ニハ金ヲ掛ケテ電報ヲ取ルト云フ資力ノナイモノガ、黙ッテ何時ノ間ニカ、他ノ新聞社ニハ來タ電報ヲ盜シテ、丁度我新聞社ニ來タ電報ノ如クシテ、アツカマシクモ之ヲ紙上ニ掲ゲ、殆ド新聞社會ニ於テハ、申スモ甚ダ如何ハシク考ヘマセケドモ、斯ウ云フ風ニ公德ヲ重シナイ、盜賊ヲスルト云フ新聞社ハ澤山ニゴザイマス、是デハ折角金ヲ掛ケテ自分ノ新聞ノ特長トシテ、社會ニ誇ラントシ、電信電話ニ對シテ、澤山金ヲ掛ケテ電報ト云フモノハ、何事モナク、唯人カラ盜マシテ、少シモ其競争ニ打勝ツト云フコトが出来ナクナッテ來ル、元ト新聞紙ノ性質トシテハ、勿論法律デモツカマシイコトヲ規定シテ、營業者間ニ告訴ヲ起シテ、彼此スルト云フコトハ好マシクナイ、是ハ好マシクナイノデアリマス、ケレドモ、何カ一ツ茲ニ裁判ト云フモノガナケラネバ、此新聞社會ノ盜賊、澤山金ヲ掛ケテ電信、電話ヲ盜ム、之ヲ防グト云フコトガ、出来ナクナルノデアリマス、現ニ此日露戰爭ノ間ニ於ケル各地ノ新聞社會ノ内情ニ付イテ申シマシテモ、非常ニ此惡徳ガ行ハレタ、金ヲ掛ケテ澤山電信、電話ノ事項ヲ掲載スルモノモ、金ヲ掛ケズニ其電信電話ヲ盜ムモノモ、チヨット社會カラ同ヤウニ見ラレテ居ルケドモ、實際ニ於テハ金ヲ掛ケタモノガ非常ニ損ヲスルト云フコトノミ歸著シテ居ルノデアリマス、新聞條例ナドガアッテ、其新聞ノ事業ニ對シテハ、非常ニ嚴シイ取締ガアル、非常ニ苛酷ノ取締ガ設ケテアル、而シテ此新聞ノ事業ヲ保護スルト云フ點カラ往ッテハ、新聞條例ドコヲ開イテ見テモ、少シモ保護ヲスルト云フヤウナ簡條ハナイ、殊更保護デアリマセヌ、新聞社ガ當然ニ有ベキ權利ノ保護ヲスル簡條ト云フモノハ、少シモナイ、ドウシテモ此點ニ關シテハ新聞社ノ事業ヲ保護スルト云フ點カラ、此電信、電話ノ轉載ヲ禁ズルト云フコトデハ是非ノヲ設ケル必要ガアル、即チ是ハ前途ノ新聞事業ヲ發達セシムル所以ノ道デアル、横井君ノ言ハレタ如ク、將來ノ新聞事業ヲ發達セシムルト云フ必要ノ上カラ、免ニ角斯様ナル一ツノ制裁ヲ設ケル必要ガアルト私ハ思フ、大岡君ハ、ドウモ今日ノ新聞社會ノ事情デハ、マダ十分ニ新聞事業ガ發達シテ居ラナイカラ、サウ云フ風ノコトハ出来ナイ、他日ドノ新聞社モ各地々々ニイロ／＼通信社ヲ置ク力が出来テ來テ、四方八方ニ通信社ガ澤山出來ルト云フ場合ニナッタラバ、斯ウ云フ法律モ必要デアラウト云フ御説デアッタケドモ、其曉ニナレバ此法律ハ要ラヌノデアリマス、寧ロ各新聞ガ各地ニ向ッテ通信社ヲ置イテ、其通信社カラ皆電報ヲ取ルト云フコトニナレバ電報ヲ盜ムコトハ出來ナクナル、盜ムモノハナクナルノデアリマス、今日新聞事業ハ發達ノ中途ニアル、是カラ大ニ發達シナケレバナラナイト云フ、此時機ニ際シマシテハ、ドウシテモ新聞社ノ權利ヲ保護スル、澤山金ヲ掛ケテ自分ノ新聞ノ特長ヲ記載スル事項ニ對シテハ、此法律ノ保護ト云フモノヲ設ケナケレバ、新聞事業ノ發達ヲ期スルコトハ出來ナイ、非常ニ競争ノ激烈ナル事業デゴザイマスカラ、特ニ斯様ナ法律ヲ設ケテ、新聞事業ノ發達ヲ望ム、殊ニ新聞社トシテ非常ナル損

失ヲ破ル、其損失ヲ破ルト云フコトヲ防グ必要ガアルト信ジマス、私ハ滿場諸君ガ此案ニ賛成ヲ表セラレ、此案ガ無事ニ此議會ヲ通過セシコトヲ希望致シマス

(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)

○福井三郎君 本員ハチヨット簡單ニ一言スルノデゴザイマスカラ、登壇ヲセズニ此處カラ申述ベマス、本案ノ提出者ガ位地名譽アル横井時雄君アルガタメニ深く内容ヲ研究スルニモ及バズ、賛成ヲシタルコトコノ一人デアルノデアリマス、然ルニ故ニ其賛成ヲシタル心ヨリ言ヘバ、原案ノ通過ヲ望ムモノデアルノデゴザイマス、然ルニ横井君ガ委員長トシテ、今報告セラレタル修正案ニ依リマスルト、原案ハ新聞紙條例中ノ改正案デアリニモ拘ハラズ、修正案ハ新聞紙ノ掲載スル目的トスル電信、電話事項ニ關スル法律案ト、一遍デハ讀ミ切レナイヤウナ、長イ名前ノ單行法トナッテ居ル、コレカラ又提出案ノ骨子デアルトモ思ハレル、前後ヲ問ハズト云フヤウナ文字ナドハ、修正案ニハ削除サレテシマッタル、又其制裁ヲ設ケタルコトコノ五圓以上百圓以下トアルモノガ、單ニ三百圓以下トナッテ居ルト云フヤウナ有様、餘程趣キガ變ジテシマッテ殆ド換骨脱體ト云フ有様ニナッテ居ル、斯ウ云フ有様ニナッテ來レバ、本員ガ横井君ヲ信ジテ賛成シタル理由ハ、殆ドナクナッテシマフヤウナコトニナッテシマヒマス、テ今議場ノ形勢ヲ見ルノニ、本案ハ縱シニ議會ニ移スベシト確定サレタコトコノ、二議會ニ於テ更ニ又大ナル修正意見ガ起リサウナ形勢デアルケレドモ、修正意見ガ起レバ、此ニ於テ又此案ニ付イテハ大ナル戰闘ガ始マルデアラウト思フ、況ヤ目下ノ形勢デアルト、先ヅ無事ニ一議會ヲ了ッテ、無事ニ二議會ニ移リ得ラレルヤ否ヤト云フコトハ、今ハ殆ド疑問デアル形勢デアル、斯ル有様デアルトスレバ、本案ノ前途ヲ甚ダ氣遣フノデアアル、故ニ本員ハ成リ得ベキコトナラバ、提出者タル横井君ガ議場ノ同意ヲ得テ、本案ヲ撤回セラレテ、今少シク熟議——深思熟考セラレテ、更ニ滿場ノ同意ヲ得ルヤウナ方法ニ畫直シテ提出セラル、ナラバ、賛成ノ一人トシテ賛成通過ニ努メタイト思フノデアリマス、是ハ必シモ横井君ニ反對スルノデヤナイノデゴザイマスガ、善意ヲ以テ御勸メスルノデアリマスガ、撤回ノ御意見モアリマシタラバ、御同意アラントラ希望致シマス

(「採決」第二議會開クヘカラス「ト呼フ者アリ」)

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ニ付イテ二議會ヲ開クベシト云フ御方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數デアリマス、二議會ヲ開クベカラズト云フコトニ決シマシタ

(「拍手」スル者アリ)

○議長(杉田定一君) 日程第四、民事訴訟法中改正法律案第一議會ノ續、委員長向坂弘君

第四 民事訴訟法中改正法律案(森田卓 第一議會ノ續(委員長 爾君外三名提出))

(向坂弘君登壇)

○向坂弘君 民事訴訟法中改正法律案委員會ノ經過ノ大要ト結果ヲ御報告致シマス、此案ハ御承知ノ如ク現行ノ民事訴訟法デハ上告ノアリマシタ場合ニ於テ、上告裁判所ガ現裁判ヲ不當ト致シマシタトキニ或場合ヲ除クノ外、之ヲ原裁判所ヘ差戻シ又ハ他ノ裁判所ヘ移送致シマシテ、更ニ辯論ヲセシメ、及判決スルト云フ法律デゴザイマス、然ルニ此改正案ハ原裁判所ヘ差戻ラシテ、更ニ辯論裁判ヲセシムルト云フコトハ宜

シクナイカラ、總テ破棄訴シタ場合ニ於テハ、他ノ裁判所ヘ移送ラシテ、更ニ辯論、判決ヲサセルト云フノガ、此改正ノ趣旨デゴザイマス、改正ノ理由ノ大要ヲ委員會ニ於テ論定致シマシタコトコノハ、一旦裁判所ガ甲トカ、乙トカ、黑白ノ判決ヲ致シタモノニ對シテ、又同一ノ裁判所ヘ其事件ヲ差戻シマシテモ、一旦黑白ノ判決ヲ致シマシタ以上ハ、更ニ其裁判所ニ前ノ判決ハ其クナイカラ、判決ヲ改メト云フコトヲ強ユルノハ、甚ダ無理デアアル、殊ニ感情上一旦爲シタ判決ハ、原ノ裁判所ハコレヲ又固執スル弊ガアッテ、往々其弊害ハ認ムルトコロデゴザイマスカラ、從テ不公平ナ判決ヲ爲スト云フヤウナコトガゴザイマスガ、理由ノ一ツ、更ニ又反對ヲ見マシテ、前ノ判決ヲ上告裁判所ノ判決ガアッテカラト云ウテ、容易ク之ヲ變更スルコトニナリマシテハ、昨日ハ東ニ國屬ヲ揚ケ、今日ハ西ニ國屬ヲ揚ケルト云フヤウナコトニナッテハ、裁判所ノ威信ヲ害スルノデアアル、殊ニ當事者ノ側カラ申シマス、當事者モ上告マデ致シマシテ、破棄訴ヲ受ケマシタモノナラバ、同一ノ裁判所ニ於テ更ニ裁判ヲ受ケルト云フコトハ、甚ダ厭フトコロデアアル、他ノ裁判所ニ於テ裁判ヲ受ケルノヲ好ムノハ、人情ノ當然デアラウト考ヘルノデアリマス、殊ニ前ノ裁判所デ、又裁判ヲ受ケルト云フノハ、大ニ疑懼ノ念ヲ懷クノデアアル、此疑懼ノ念ヲ懷クノモ、亦裁判所ノ威信ヲ害スルノ一デアラウト思ヒマス、斯ル次第デアリマシテ、要スルニ委員會ハ裁判ノ公平ト、裁判所ノ威信トヲ保タシメ竝ニ當事者ニ安心ヲ與ヘルト云フ方カラ致シマシテ、此原案ヲ全會一致ヲ以テ可決致シタノデアリマス、所ガ是ニ付イテ政府ノ方ハ全然反對ノ意見デアリマス、其反對ノ意見ハ唯ニツシカナイ、コレハ確定ノ時期ガ原裁判所ヘ移サスト、ソレガタメニ確定ノ時期ヲ長カラシムルト云フコト、當事者ヲシテ多クノ費用ヲ負擔セシムル虞ガアルト云フ、二箇ノ理由ヨリシカ、委員會デハナクカノデアリマス、ケレドモ之ガタメニ確定ノ時期ガ長クナルト云フコトハ、事實決シテ見ルコトハ出來ナイシ、又訴訟ノ費用モソレガタメニ嵩ムト云フコトハ、決シテ見ルコトハ出來ナイノデゴザイマシテ、斯ル政府ハ薄弱ナル理由ヲ以テ、此案ニ反對ヲ致シタノデゴザイマスカラ、委員會ノ容レルトコロトナラナカッタノデアリマス、此案ハ御承知ノ如ク第二十一議會デモ、當會ニ於テ全會一致ヲ以テ可決ヲ致シタ案デゴザイマスカラ、ドウガ委員會報告通り決定アラントラ願ヒマス

(森田卓君登壇)

○森田卓君 諸君私ハ此本案ニ付イテハ、實際ノ實施ノ上ニ於キマシテモ、亦理窟ノ上ニ於キマシテモ、此修正案ニ反對ヲスルノデアリマス、即チ現行ノ民事訴訟法ノ規定ヲ以テ完全無缺ナリト信ズルノデアリマス、諸君御承知ノ如ク、此本案ニ於テ此修正案ノ改正ヲシヤウト云フコトハ、ドウ云フコトデアアルカト云ヘバ、大審院ニ於テ控訴院ノ判決ヲ破棄シタ場合ニ、必ズ前ノ同等ノ裁判所ヘ移送スルト云フコトニシテ貫ヒタイ、其原裁判所ヘ差戻スト云フコトコノ制度ハイケナイト云フコトガ、此修正ノ意見デアリマス、然ルニ此現行法ハデス、此差戻スル制度コトモアレバ、又他ヘ移送スルコトモアルト云フ、此大審院ノ判事ニ對シテ、自由ナル選定ヲ任シタルノデアアル、コレ故ニ絕對ノ他ニ移送スルノデモナケレバ、又絕對ノ差戻スルノデモナイ、即チ差戻スルコトヲ必要ト認メタ場合ニハ、之ヲ原裁判所ヘ差戻シ、又移送スルコトヲ必要ト認メタ場合ニハ、之ヲ他ニ移送スルト云フコトノ現行法ハ規定デアリマス、然ルニ何故ニ此原裁判所ヘ差戻スト云フコトハイケナイ、此差戻ト云フ文字ヲ削除シナケレバナラヌト云フコトヲ言ハルノガ、即チ此修正案ノ意見デゴザイマス、コレヲ能ク翫味シテ見マスルト、ドウ云フ理由デアアルカト云ヘバ、先ヅ第一ニ裁判ノ公平ヲ保ツコトガ出來ヌ、或ハ或ハ裁判ノ威信ヲ保ツコトガ出來ヌ、而シテ其事實ハ如何ト云ヘバ、丁度唯今委員長カラ御報告ニナッダヤウナ理由デゴザイマス、併ナガラ能ク諸君ノ御勸考ヲ煩ハサナケレバナラヌ點ハ、彼ノ委員

長カラ御報告ニナツタ如キハ、全ク實際ノ事實取扱三反對ヲストコロノ事實アル(「ノウ」ト呼フ者アリ)本員等ノ見ルトコロニ於テハ、事實ノ上ニ於テモ、實際ノ上ニ於テモ、少シモ差支ナイ、現ニ花井君ナドハ「ノウ」ト言ハレケレドモ、自ラ御扱ヒタルカラ御承知デアラウ、先ヅ第一ニ私が現行法が適當ナルト申シマスノニハ、斯ウ云フ「ツ」理由ヲ持ツテ居リマス、第一此當事者ガ若シ之ヲ原裁判所ニ差戻スコトヲヨシテ、他ノ裁判所ニ移送スルト云フコトニナリマスレバ、ドウデアリマス、東京控訴院ノ判決ニ對シ、大審院ハ上告ヲシテ、之ヲ破棄シタ場合ニ、必ズ之ヲ名古屋ヘ移サナケレバナラヌ、又ハ仙臺ヘ移サナケレバナラヌ(「知レ切ッタ話」ト呼フ者アリ)其場合ニ當事者ガ、ドノ位ノ迷惑ヲ致シマセウ、其場合ニハ即チ名古屋マテ往カナケレバナラヌ、又ハ仙臺マテ往カナケレバナラヌト云フコトコロノ關係ヲ生ズル、即チ是ニ依ッテ訴訟費用ト云フモノモ、大ニ要スルノデアル、ソレノミナラズ此判決ノ決定ノ時期ヲ延シタルミナラズ、其外ニ於テモ證據期間ト云フモノヲ要スル、或ハ判決ノ確定ヲ遷延スルノミナラズ、其外ニ於テモ證據調或ハ證人調等ノコトニ付イテ、非常ナ不便ヲ感ズル、ナセトナレバ元來カ東京控訴院ノ管轄區域内ニ於テ發生シタル事件デアリマスカラ、ソレニ對スルトコロノ證據調、若クハ證人ノ喚問ヲ要スル場合ニ於テモ、矢張東京カラ之ヲ名古屋若クハ仙臺マテ喚出サナケレバナラヌト云フ不便モアル、勿論ソレニ付イテハ、囑託問ノアルコトハ知ツテ居リマス(守屋此助君「刑事訴訟法ヲ改正シ給ヘ」ト呼フ)刑事訴訟法ノコトハ是カラ説明シテ上ゲマス、ソレ故ニ私ハ此本案ニ付イテハ、現行法ヲ可トシテ、修正案ヲ否トスルノデアル、然ルニ唯今委員長ノ御説明ニ依レバ、斯ウ云フコトガアル、若シ現ニ裁判ヲ與ヘタトコロノ裁判所ニ對シテ、大審院ガ差戻シタ場合ニハ、其裁判所ガ之ヲ判決スルト云フコトニ當テハ、恰モ同一ノ裁判官ガ裁判スルガ如クニ斷定セラレテ、而シテ是ハ前ニ既ニ判決シテ居ルノデアル、既其事事件ニ向テ豫斷シタコトコロノ裁判官ガ、再ビ裁判ヲスルノデアルカラ、之ヲ翻スト云フコトハ、實ハ出來ナイ、感情ノ上ニ於テモサウハ出來ナイノデアルカラ、即チ裁判ノ公平ヲ缺クノデアル、斯ウ言ハレタ、是ハ大變事實ノ上ニ於テ違フト云フコトヲ本員ハ述ベント欲スル所以(「ノウ」ト呼フ者アリ)例ヘバ今日控訴院ヘ差戻シタ場合ニ於テハ、此民事ニ於テハ各部ニ部ガ設置シテアリマシテ、サウシテ他ノ各部ノ違フトコロノ裁判官ガ、判決ヲ致シマスカラ、必シモ同一ノ裁判官ガ之ヲスルト云フコトハアリマセヌ、或ハ其裁判ノ中ニ於テ、一二ノ者ガ混ッテ居ルコトガアリマセウケレドモ、毎年度裁判ノ構成、内部ノ組織ガ變更シテ居リマスカラ、サウ云フ不都合ハナイノミナラズ、斯ウ云フ第一ノ理由ガアル故ニ、此裁判所ト云フコト、裁判官ト云フコトヲ委員長ノ報告若クハ反對論者ガ同一ニ見ルカラ、サウ云フ不都合ヲ感ズルノデアリマシテ、裁判所ハ裁判官ヲ以テ構成シテ居リマス、裁判官ナストコロノ裁判官ハ時々違フノデアリマスカラ、此邊ノコトハ能ク諸君等ノ御熟考ヲ煩ハサナケレバナラヌ、ソレカラモウ一ツ申シテ置キマス、此大審院ノ破毀シタコトコロノ判決ニ對シテ、是ハ勿論法律事項ニ關スルコトデアリマスケレドモ、大審院ノ判決事項ヲ以テ、其下級裁判所ヲ拘束スルコトハ、此次ノ箇條ニ於テ規定シテアルノデアリマス、サウシテ見レバ必シモ大審院ガ判決ヲシテ、其判決ノ趣旨、法律ニ關スル事項ニ付イテハ、判決ノ理由デ、下級裁判所ヲ拘束スルノデアアルカラ、前ト同一ノ判決ヲ見ルコトハ萬々ナイコトデアアル、(立川雲平君「ツ」ナコトハナイ)ト呼フ)立派ニアル、立派ニ大審院ノ判決例ガアリマス、立川君ノ如キハ、サウ云フコトハナイト言ハレマスケレドモ、此民事訴訟法ノ四百五十條ヲ御覽ナサイ、(辯護士同志喧嘩ヲスルナ)ト呼フ者アリ)故ニ既ニ其點ニ於テモサウ云フ不都合ハアリマセヌ、ソレカラモウ一ツ反對論者ガ、斯ウ云フコトヲ言ハレハ、然ラバ刑事訴

訟法ニ於テハ、大審院ガ破毀シタ場合ニ、他ノ控訴院裁判所ニ移サナヤナイ、民事ノ場合ニ於テ差戻スコトガアルデ、刑事ノ場合ニ差戻ガナイノハ、ドウ云フ譯デアルハ何モ不思議ナコトハナイ、唯立法ノ上ニ於テ是ノ如ク制定セラレテ居ル、本員等ハ個人ノ意見トシタナラバ、是ハ矢張差戻若クハ移送スルコトヲ得ト云ツタ方ガ宜イト考ヘル、ソレ故ニ此民事訴訟法ノ此修正案ニ本員ハ反對スル所以デ、是ダケノ理由ヲ以テ私ハ此修正案ニ對シテ反對ヲ致シマス

(宮古啓三郎君登壇)

○宮古啓三郎君 此案ハ否決ニナルト云フコトニナルト、甚ダ容易ナラヌ結果ヲ生ズルト思ヒマスカラ、特ニ一言申上ゲルコトニ致シマス(「簡單ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)唯今森君ノ御演說ヲ拜聴致シマシタガ、ドウモ森君ハ長ラク朝鮮ニ往ッテ居ラシヤイマシタカラ、ソレガタメニ内國ノ事情ニハ餘程疎ク御成リニナツタヤウニ考ヘラル、ノデアリマス、森君ノ今言ハレタコトニ澤山間違、點ガアルノデゴザイマス、尙申上ゲテ置キタウ存ジマスノハ此案ハ昨年ノ議會ニモ出タ案デアッテ、昨年ノ議會ニ於テハ滿場一致、一人ノ異議者モナク通過シマシタ問題デアリマス(花井卓藏君「其時ハ森君モ確ニ立チマシタ」ト呼フ)不幸ニシテ貴族院ニ往ッテ、讀ミナリマセヌガタメニ、本年亦出マシタノデアリマス、ソレデアリマスカラ此衆議院ナルモノニ一定ノ意見ガアルトスレバ、昨年ノ意見ト今日ノ意見ト何ガ故ニ變ルノデゴザイマスカ(中林友信君「マダ變ルカ變ラヌカ分ラヌ」ト呼フ)何等カ茲ニ已ムヲ得ザル事實デモ出テ參ッタノデアリマスレバ、格別デゴザイマスケレドモ、已ムヲ得ザル事實ガナイトシマスレバ、昨年ト今年トニ於テ、議員ノ意見ガ濫リニ變更サレルト云フコトハナイ筈ダウト思ヒマス、ソレデアリマスカラ此案ニ付キマシテ、何カ非常ナ事實ガナケレバ反對スル理由ト云フモノハナラヌノデアルト云フコトヲ一言致シテ置キマス、ソレカラ尙ホ政府ニ於キマシテハ本年ハ少シク曖昧ナ態度ヲ取ラレテ居リマスガ、昨年ニ於テハ贊成ヲシテ居ルノデアリマス、昨年ノ速記録ヲ見マスルト云フコト、斯様ニ書イタル「民事訴訟法ニ付イテ簡單ニ意見ヲ述ベテ置キマス、差戻移送共ニ多少ノ利害ハ伴フモノデアラウト思ヒマス、一般ノ意見ガ改正ヲ可トセラレルト云フコトニ定リマスレバ、政府ニ於キマシテモ敢テ反對スベキ程ノ事柄ガナイト思ヒマスガ、此際進シテ政府ノ方カラ同意ヲ表スト云フコトハ少シ申上ゲ兼ネマス、一般ノ意見ガ贊成デアリマスコトナラバ、政府ニ於テハ異議ハナイ」斯ウ云フコトニ言ッテ居ルノデアリマスカラ、政府ニ於テハ反對ト云フコトハ言ッテ居ラナイノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ本件ニ於テ此事ニ反對サレルト云フ事柄ハ、理窟ノナイコトデアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ尙此案ト云フモノハ、刑事ト同様ニスルモノデアルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタ、今日モ刑事訴訟法ト云フモノニ於キマシテハ、總テ破毀シタ場合ニハ移送スルコトニナツテ居ルノデアアル、決シテ差戻スルコト云フコトハ、刑事ニ於テハナイノデアアル、ソレハ何ノタメニ斯ウ云フコトニスルカト云フコト、即チ元ノ裁判所ニ返ッテ參リマスレバ、同ジ判事が判決ヲスルカラ、サウスルト矢張同ジ裁判ヲスルト云フ虞ガ茲ニアルノデアアルカラ、左様ナコトデハ相成ラヌカラシテ、之ヲ他ニ移送シテ、他ノ別ナル判事ヲ以テ、判決サセルガ、適當デアルト云フ意見カラ、刑事ニ於テ必ズ移送スルコトニナツテ居ル、此理窟ト云フモノハ刑事ニ於テモ、民事ニ於テモ、變ルベキ理窟ハナイノデアリマス、民事ニ於キマシテモ、今日ノ場合ガ能ク分ッテ居ルノデアリマスガ、多クノ場合ハ差戻シテ居リマスルガタメニ、矢張同ジ判決ヲ同ジ裁判所ニ於テ、澤山ニシテ居ルノデアリマス、是ハ人情トシテ已ムヲ得ザルコトデアリマス、自分ガ一旦判決シタノデアアルカラ、ソレガ又自分ノ手ニ歸スルト云フト矢張同ジ裁判ヲ下スト云フコトハ、免レナイ話デアアル、是ハ制度ガ惡リノデア

ルカラシテ、此制度ト云フモノハ改正シナケレバナラヌト云フコトニ相成ルノデアリマス、森君ノ今間違シテ居ルノハ差戻ニナツテモ、別ノ部テ判決スルカラ宜イデヤナキト云ハレマシタガ、或ハ東京ニ於テハサウ云フコトガ出来ルカモ知ラナイト思ヒマスガ、名古屋トカ、廣田トカ、函館トカ、仙臺トカニ云フヤウナ所ニ於テハ、タツタ民事ハ一部シカナイ、差戻ニナツテ來レバ、矢張同部テ判決スルノデアリカラ、決シテ別ノ判事ガ判決スルコトハ出來ヤシナイ、コラハ能ク御承知下サラヌト困ルノデアリマス、斯様ナ次第デアツテ、又今日ノ統計ヲ調べ見ルト、三十六年ニハ百九件ガ差戻ニナツテ、タツタ一件シカ移送ニナツテ居ラス、三十七年ニ於テハ百二一件差戻ニナツテ、六件シカ移送ニナツテ居ラス、三十八年ニハ百二十八件差戻ニナツテ、十一件シカ移送ニナツテ居ラス、事實ハ殆ド殘ラズ差戻シニナツテ居ルノデアツテ、法律ハ移送スルコトガ出來ルニ拘ハラズ、事實ハ移送シテ居ラスノデアリマス、ソレデ同部判事ガ同部判決ヲ下スト云フ、非常ナ弊害ガアルノデアリマスカラ、此案ハ少シモ昨年ノ事情ト變テモナキノデアリマスカラ、昨年同様、滿場一致ヲ以テ可決アランコトヲ希望致シマス

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、本案ニ付イテ二讀會ヲ開クベシト云フ方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數デアリマス

○宮古啓三郎君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開クコトニ付イテ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナケレバ、直チニ二讀會ヲ開キマス、委員長ノ報告通リ御異議ハアリマセヌカ

民事訴訟法中改正法律案

第二讀會

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス

○宮古啓三郎君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開クコトニ付イテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、二讀會ニ於テ決議ノ通御異議ハアリマセヌカ

民事訴訟法中改正法律案

第三讀會

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、本案ハ確定ヲ致シマシタ、次ハ日程第五、監視廢止ニ關スル法律案ハ、是ハ委員長ヨリ延期ヲ申出デ居リマス、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、日程第六、屠場法案、第一讀會ノ續、委員長報告、川島龍藏君

第六 屠場法案(川島龍藏君外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

〔川島龍藏君登壇〕

○川島龍藏君 諸君、私ハ屠場法案ノ委員會ノ經過及結果ヲ報告致シタウゴザイマス、本案 御承知ノ通近來我邦ノ肉食ノ増進ニ伴ヒマシテ、大ニ此屠場ノ取締リ及検査方法又ハ賣肉ノ取締リ云フコトヲ十分ニ致ス必要ガアルト同時ニ、又生産者ニ對スル方法モ設ケテ置カクテハナラヌト云フコトデ、委員會ニ於テハ大體ニ於テ賛成デアリマシタガ、併ナガラ此提出致シマシタル條項ニハ、未ダ不備ノ點ガアルト云フ譯デ、委員中ヨリ更ニ五名ノ修正委員ヲ選ビマシテ、サウ致シテ政府當局者ノ意見モ十分承リマシタ上、御手許ニ差上ゲテアリマスル如キ、修正案ガ成上ツテ、委員ハ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタコトデアリマスカラ、速ニ御同意ヲ請フ次第デゴザイマス

〔採決々々〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 採決致シマス、二讀會ヲ開クベシト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開キタイノアル、而シテ元ト提出者ノ案ハ其クナカッタノアル、大修正ガ出來テ、政府ガ提出シヤウト思ッダ通ニナツタカラ、政府モ同意ニナツタノアルカラ、二讀會ヲ省略シテ直チニ決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開キ、三讀會ヲ省略シテ確定スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、全部ヲ議題トシ委員長ノ報告通リ御異議ハアリマセヌカ

屠場法案

確定議

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、是ニテ本案ハ確定ヲ致シマシタ、日程第七、明治三十三年法律第八十六號中改正法律案、第一讀會ノ續

第七

明治三十三年法律第八十六號中改正法律案(内山吉太郎外三名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○恆松隆慶君 是ハ先キニ報告ガ済シテ居リマス、ドウカ直チニ二讀會ヲ開カレタイノアル、前ノ關稅定率カ極ツタ以上ハ――

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、二讀會ヲ開クベシト云フコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開カレ、三讀會ヲ省略シテ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(杉田定一君) 三讀會ヲ省略シテ、確定スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス――直チニ二讀會ヲ開キ全部ヲ議題ト致シマシテ委員長ノ報告通リ御異議ハアリマセヌカ

100

100

(11)

○早速整爾君 發言ノ通告ガシテアツタノデス、極ク簡單ニ私ハ申シマスカラ……ト恒松君ノ唯今ノ御疑ガゴザイマシタケレドモ、實ハソレトハ丁度性質ヲ別ニシテ居リマ
スノデ、決シテ恒松君ノヤウナ御懸念ノナイ問題デアル(恒松隆慶君「アル」ト呼フ)
關稅同盟ト云フコトデ、詰リ日本ノ關稅區域ヲ朝鮮ニマデ延長シヤウト云フコトデゴザ
イマスカラ、無論ソレハ米ノ輸入稅トカ、或ハ其他ノ總テ朝鮮カラ日本へ這入ル品物ノ
輸入稅、又日本カラ朝鮮へ出テ往ク品物ノ稅ト云フモノモ、總テ是ヲ免除スルト云フ
コトナリハスルケレドモ、其點ニ於キマシテハ、詰リ此朝鮮ト云フモノヲ關稅關係デ、日
本ノ領分ノ内ニ入レテシマフト云フ意味ニナルノデアリマス、御承知ノ通り朝鮮ノ今日
ノ農業ト云フモノハ、誰ガ之ヲ旨ク發展ラセシメテ往カナケレバナラヌト云ヘバ、ドウシテ
モ諸君ガ御承知ノ通り、日本人ノ手ヲ待タナケレバ出來ナイノデアル、日本人ノ手ヲ待
タナケレバナラヌト云フ朝鮮ノ事業デゴザイマスカラ(ソレナモノニ贊成スルモノハナイ、ア
レバ運動ノ結果「ト呼フ者アリ」現ニ日本人ガ朝鮮ノ内地ニ於テ、幾百萬圓ノ金ヲ費
シ、而シテ幾百萬町歩ノ田地ヲ買入レ、農業ニ從事シテ居ルト云フコトハ、諸君モ御
承知ニナッテ居ルダラウト思ヒマス、此故ニ詰リ關稅同盟ヲ結ブト云フコトニナルノハ、矢
張此日本ノ人民ヲ保護スル、韓國ニ於ケル日本ノ農民ヲ保護スルツ云フ問題ニナルノ
デアデ、農民保護ノ上カラ日本ノ農民ガ、打撃ヲ受ケルデアラウト云フヤウナ御考ハ、
私ハ甚ダ狹隘ナ議論デアラウト信ズルノデアリマス、詰リ關稅ノ關係ニ於テ、經濟ノ
關係ニ於テハ、北海道若クハ臺灣ト朝鮮ト云フモノヲ殆ド區別ノナイモノニシテシマフ
ト云フヤウナ關係デアル、詰リ朝鮮ヲ外國ト看做シ、マルデ日本ヨリ餘所ノ國ト看做ス
ト云フ點カラ申セバ、唯今ノヤウナ議論ガ起ルカモ知レマセヌケレドモ、詰リ朝鮮ニ於テ
事業ヲスルモノハ、日本人デアルト云フ考ヲ持ッテ戴キタイ(恒松君「マダサウハ往カナイ、
早イ、サウ云フ希望デアルト事ガ間違フ」ト呼フ)詰リ朝鮮ニ對スル指導啓蒙ノ大任ヲ帶
ビテ居ル日本帝國デアリマスカラ、免ニ角此事業ノ經營ニ不利デアルモノハ、必ズ之
ヲ斥ケテ往カナケレバナラヌモノデアル、關稅ト云フ制度ガアルガタメニ、通商上非常ナ妨
害ヲ來スト云フコト、竝ニ韓國ノ事業ノ發展ノ上ニ非常ナ障礙ニナルト云フコトハ、之
ハ誰モ認メテ居ルノデアリマスカラ、免ニ角此關稅同盟ト云フコトノ下ニ關稅制度ヲ撤
去シテ、サウシテ朝鮮經營ノ發展ヲ圖リ、朝鮮ニ於ケル事業ノ經營發達ヲ圖ルト云フコト
ヲスルノガ、今日ノ急務デアラウト思フ、政治上ノ關係ニ於キマシテハ、既ニ斯ノ如ク
ナッテ、日本ノ保護權ト云フモノハ確立シテ居ル今日デアル、日本ノ保護權ガ確立シテ
居ル今日デゴザイマスカラ、經濟上ニ於テ此關門ヲ置ク必要ハドコニモナイ、即チ經濟上
ノ關門ヲ撤去シテ、經濟共通ノ途ヲ開キ、サウシテ此將來ニ對スル、韓國ニ對スル、經
營ノ基礎ヲ堅クスルノハ、モウ此問題ヲ以テ最モ必要ト信ズルノデゴザイマスカラ、私ハ
他ノコトニ付イテハ、長クハ申シマセヌ、唯恒松君ノ如キ誤解ヲ懷イテ居ル御方ガアルカ
ラシテ、ソレハ誤解デアルト云フコトヲ申シテ、此案ニ對シテ滿場ノ諸君ノ贊成ヲ希
シマス

〔採決「ト呼フ者アリ」〕

○福井三郎君 意見ヲ述ベタイ 簡短デゴザイマスカラ、此處カラ述ベマス、大層早
ク採決ヲシタイト、皆サシ御急ギニナリマスケレドモ、此問題ハサウ早ク採決スベキ問題デ
ナカラウト思フ、私ガ今述ベントスルトコロハ長イノデハナイガ、十分ニ慎重ニ議スベキコトデ
アルト思フ、朝鮮ト我國トノ關係ヲ今日ニ至ラシムルマデニハ、如何ナル苦勞ヲ國民ハ致
シタノデゴザイマス、又國家モドノ位努メタノデゴザイマス、遠キ昔ハ知ラズ、極ク近キ十年
此方ニ於テ、日清戰爭ハ之ガタメ起ッタノデアリマセヌカ、日露戰爭モ亦之ガタメニ

起ッタデアリマセヌカ、此ノ如キ經過アル今日ニ至ッテ、朝鮮ト日本關係ヲ見ルト、單ニ
此關係問題デアルトカ何トカ云フ僅カナ問題デアリマセヌ、名ハ何ト云フ趣ヲ冠ッテ出
ヤウトモ、言ハズ語ラザル中ニ、諸君ハ御承知ノ問題デアルノデアル、然ルモ拘ハラズ之
ヲ一面ニ於テ外國米ノ課稅問題トカ、何トカ言フヤウナ、些細ナコトカラシテ、本問題ニ
影響ヲ及ボシテ、本會ヲ通過セシメヌト云フ反對論ノ起ルニ至ッテハ、實ニ我國ノ智識
ノ程度モ思ヒヤラレルト思フノデゴザイマス、故ニ本案ハ彼是議論ヲセズニ、一瀾千里、
直チニ無言ノ間ニ之ヲ通過セシムルノガ、即チ我國ノ目的ヲ達スル所以デアラウト思フ、
早速君ノ演說中ニ關稅同盟云々ノコトガアリマシタガ、ソレハ即チ早速君ガ議論ニ引カ
レタ言葉デアデ、本員ナドハ關稅同盟ト云フ趣意ハナイト云フコトヲ茲ニ明カニシテ置
キマス、同盟デハナイ、讀ンデ字ノ如ク此關稅ヲ撤退シヤウト云フノデアル、何等ノ點ニ
御迷モナク本案ハ直チニ通過セラレンコトヲ希望シマス

○江藤新作君 我ハ本席ヨリ簡短ニ本案反對ノ意見ヲ述ベマス(黨議ヲ贊成ト極
テ居ルデヤナイカ「ト呼フ者アリ」黨議ニ於テ贊成トハナッテ居リマセヌ、苟蘇版ノ間違
アリマスル、故ニ茲ニ一言辯明ラシテ置キマスガ、關稅同盟ト云フコトヲ若シシマシタナ
バ、(ソウ「關稅同盟デナイ」ト呼フ者アリ)委員長ノ報告ヲ唯今承リマストコロニ依
レバ、日韓兩國ノ間ニ關稅同盟ヲ爲シテ、兩國ノ間ニ貿易上ノ關稅ヲ撤去シヤウト云
フ趣意ト承リマシタ、若シ是ノ如クスルナラバ、日本人ガ朝鮮ニ於テ酒ヲ拵ヘマシテ、日
本ニ輸入スルト云フ場合ニハ、無稅デアリテ、日本國內ニ數多ノ酒ガ輸入サレルト云フコ
トヲ覺悟シナケレバナラヌ(煙草モ亦然リ「ト呼フ者アリ」此場合ニ於テ、內國ニ於テ重
稅ヲ拂ッテ酒造ヲナシテ居ルモノハ、非常ナ打撃ヲ受ケルコトナラウカト思ヒマス、故ニ此
事ヲ考ヘテシナケレバ、非常ニ利益ヲ計ルカ如クニシテ、却テ不利益ニナラウト思ヒマス、
故ニ反對デアリマス

〔討論終結ノ聲起ル〕

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、委員長ノ報告ニ御同意ノ諸君ハ起立ヲ願
ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數デアリマス、本案ハ否決サレマシタ(拍手スル者アリ)日程
第十、高等水產學校設立ニ關スル建議案委員長報告 委員長川原茂輔君

第十 高等水產學校設立ニ關スル建議案(川原茂 委員長報告)

川原茂輔君登壇

○川原茂輔君 諸君、高等水產學校設立ニ關スル建議案ノ委員會ノ經過ヲ御報
告致シマス、是ハ私外四君ノ提出案デゴザイマシテ、而シテ私が委員長ノ席ヲ汚シマシ
テ、二回委員會ヲ開キマシタ、而シテ委員會ハ滿場一致ヲ以テ本案ヲ採用スルト云フ
コトニ決定ヲ致シマシタ、然ルニ委員會ヨリノ希望トシテ、聊カ附加ヘテ報告ラシテ吳レ
イト云フコトガゴザイマスカラ、極手短ニ報告ヲ致シマス、本案ハ昨年本會ヨリ建議ニナ
リマシタ結果、本年札幌農學校ニ於テ、水產學校ノ設置ヲ見ルト云フコトニナリマシタ
ガ、其意味ヲ擴張シテ、即チ南海方面ニ之ヲ置クト云フ 水產學校ヲ設立シテ實
タイト云フ希望ヲ建議デアリマス、我國ノ此水產業ニ關スル人ハ、或ハ改良、或ハ獎勵、
若クハ學術ノ上ニ於テ種々ナ研究ヲ致シマスガ、寧ろ農商務省ノ水產ニ屬スル當局者
及文部省ノ水產教育ニ屬スル當局者ハ國民ノ希望、國民ノ熱心ヨリモ、寧ろ冷淡デア

ル、將來ハ益、進シテ此水産ノタメニハ専ラ盡力セラレンコトヲ望ムト云フ意味ヲ以テ、報告ヲセヨト云フコトデゴザイマス。是ハ大體ハ附加ヘテ報告ヲ致シマス、委員會ハ右申上ゲル通り満場一致ノ賛成デ採擇ニ極リマシタカラ、本會ニ於テモ、満場一致御賛成アラシコトヲ希望致シマス。

○恒松隆慶君 是ハ大體成テ、北海道ニモ水産學校が出來ル位デゴザイマス、尙之ヲ擴張スルハ、最モ必要デゴザイマス、ドウカ委員長報告通即決アラシコトヲ望ミマス。

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス、委員長報告ノ通御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナシト認メマス、委員長報告通決シマシタ——日程第十一、取引所賠償責任準備積立金ニ關スル建議案、委員長報告、濱田國松君

第十一 取引所賠償責任準備積立金ニ關スル建議 (委員長報告)

○濱田國松君 取引所賠償責任準備積立金ニ關スル建議案デゴザイマス、是ハ委員會長が缺席デゴザイマスカラ、理事ノ私ヨリ御報告ヲ致シマス、本件ノ委員會ハ數回開キマシタ結果、委員會ハ満場一致ヲ以テ此案ヲ可決致シマシタノデゴザイマス、可決ノ大體ノ理由ハ此株式組織ニ依リ取引所ノ賠償責任準備金ト云フモノハ最モ必要ナモノデアリマスガ、株式組織ノ取引所ニ於テハ、其株ノ全部が賠償金ノ趣旨デ積立テラレテ居ルモノデアアル、第二ニハ商法ノ百九十四條ノ規定ニ依リマシテ、普通ノ株式會社同様に積立金ト云フモノヲ行テ居ル、然ルニ本件ノ目的トナテ居リマスルコトコロノ此三十五年ノ勅令ノ第五百五十八號ニ依ッテ、此商法以外ニ更ニ賠償責任準備金ト云フモノヲ積立ラ命ズルコト云フコトハ、餘リ過重デアルト云フ趣意之ニ加フルニ此勅令ノ趣旨が甚ダ不公平、不穩當デアル、一言ニ之ヲ申述ベマスレバ、利潤ノ多イ取引所ノ配當ノ多イ取引所ニハ却テ多額ノ積立金ヲ命ズルケレドモ、一割以下ノ配當ヲ受ケル取引所若ハ配當ノ少ナイトコロノ取引所ニ對シテハ、却テ積立金ヲ命ズルコト云フヤウナ結果ニ陷ルト云フヤウナ種々缺點ガアリマス、旁以チマシテ之ニ關シマスルコトコロノ建議案ハ可決ヲ致スガ宜カラウト云フ大體ノ趣旨デ、本案ハ一一致可決ヲ致シタヤウナ譯デアリマス、此段御報告致シマス

(採決々々ト呼フ者アリ)

○立川雲平君 委員會ハ満場一致ヲ以テ贊成ヲシタト云フ案ニ向ッテ、反對ノ意見ヲ提出致シマス、誠ニ己ヲ得ザル理由ノ存スルアルガタメデゴザイマス、簡單ニ申述ベマスカラ、御聽取アラシコトヲ望ミマス(諸聽々々ト呼フ者アリ)抑、此取引所ナルモノハ、商業ノ機關トシテ最モ樞要ノ部デゴザイマス、故ニ必要ノモノニ相違ハゴザイマセヌ、併テガ理想ハ常ニ實行セラル、コトガ難イモノデゴザイマシテ、何事ニモ一利アレバ一害ノ伴フモノデアルガ、取引所ノ如キハ目下ノトコロ恐ラクハ其害ノミガ存シテ居リマシテ、其利其益ヲ見出スコトハ、本員等ハ頗ル苦ムモノデゴザイマス、現ニ取引所法第十八條ニハ、取引所ノ賣買取引ハ直取引、延取引及ビ定期取引ノ三種トシテゴザイマス、然ルニ我取引所中最モ其盛ナリト云フ東京ノ株式取引所ノ如キハ、現ニ此賣物ノ賣買ト云フモノハナイノデゴザイマス、多クハ此定期ノ取引、私共甚ダ言葉が過ルカハ存シマセヌケレドモ、之ヲ申シマスレバ賭博場ト云ウデモ差支ハナイ位ノ感覺ヲ起スノデゴザイマス——感情ヲ起スノデゴザイマス、何トナレバ現ニ多クノ株式ヲ買ハウトカ、多クノ株券

ヲ賣ラウト云フヤウナ場合ニ、此取引所ニ至ッテ、イツモ其目的ヲ達スルコトガ出來ナイノデアリマス、却テ一私人ノ店ニ於テカラニ、彼ノ現物屋ト稱スルモノ、家デ、取引ヲサレテ居ルノデアル、是ハ何カ故デアルカ、即チ此投機商即チ機ニ投ズルトコロノ山師連中が寄合ッテ、互ニ賭博スルコトニノミ注意ヲ致シマシテ、取引所ナルモノ、理想ハ、寸毫モ行ハレテ居ナイノデアル、故ニ東京ノ取引所ニ對シテモ、現物ノ取引ト云フモノニ對シテハ、別段ニ一箇所ノ取引ヲ作ルガ宜イト云フ議論ヲ持ッテ居ル人サヘアル、ソレガタメニ帝國議會ニモ一二回議案トシテ提出サレタコトモゴザイマス、取引所法ノ改正ニ付イテ、是レ何ガタメデアルカ、取引所ノ弊バカリヲ行ッテ、其利アルトコロ、即チ理想ノ一端ヲモ行ッテ居ナイト云フコトデアアルデアリマス、今後大ニ改良モセネバナラス、矯正モセネバナラス、現ニ取引所法ニ損害ノ賠償ハ、其責任ヲ負フト云フコトヲ極メタルニモ拘ハラス定款ノ中ニ於テハ、此損害額ニ於テカラニ、種々我儘氣儘ナルコトノ規定ヲ致シテ、取引所法ノ法意ヲ滅却シテ居ル點モゴザイマス、本員等聊カ此等ノ點ニ付イテ、考慮スルトコロガゴザイマス、此等ハ他日機ヲ見デ、大ニ議論スルトコロガアルノデゴザイマス、今日ノ此案ニ直接關係ガゴザイマセヌカラ、多クハ申シマセヌ、併シ取引所ノ問題ト云フモノハ、常ニ誠ニ此思ムベク厭フベキノ風説、噂ガ附纏フモノデゴザイマス、之ヲ論議スルトコロノ人ノ立場ニ依リマシテハ、實ニ面白カラザル感覺ヲ人ニ與ヘ、又其人ニ其感想ヲ懷カシメルコトガアルノデゴザイマス、幸ニ本案ノ提出者並ニ贊成者諸君ヲ見ルト、本員等が常ニ敬意ヲ信任ヲ表スルニ躊躇セザル人ミデゴザイマス、此等ノ心配ノ無用ナルコトハ、本員ノ深ク喜ビ、且満足シテ此議論ヲ茲ニ提出スルニ勇立ッテ、論議スル所以デアリマス、此建議案ノ大趣意ハ明治三十五年第五百五十八號ノ勅令中賠償準備積立金ヲ廢シテシマハウト云フノデス、語ヲ換ヘテ之ヲ申シマスレバ、取引所ノ積立金ヲ罷メテ、株主ノ配當ヲ多クスルト云フ、株主ノ配當が多クナレバ、株券ノ價格ガ騰ルト云フ、是ガ此案ノ目的ナシテ、而シテ一面ニハドウデアアルカト云フナレバ、此取引所ト取引ヲスルモノガ、萬一ノトキニ損害賠償ヲ受ケル場合ニ當ッテ、全部受ケルコトガ出來ナイコトガアリハヌマイカ、或ハ此損害賠償ノ責任ヲ全ウスルコトノ出來ナイヤウナコトガアリハヌマイカト云フ、疑念ヲ懷カシメルノニ過ギナイノデゴザイマス、勿論唯今委員長ノ御報告中ニモゴザイマシタガ、此準備積立金ハ一割以下ノ配當ノ取引所ニハ積立金ヲ免シテゴザイマス、帝國國中ノ多クノ地方取引所ハ一割以內ノ配當ニナッテ居リマスカラシテ、此積立金ハナクナッテ居ル、即チ東京ノ如キ大取引所ニ於テハ、此積立金ヲシテ、アルノデゴザイマス、此案ガ今申シマス通り利益ヲ得ルトコロノ人ハ、單ニ一小部分、即チ其株主ノ配當ガ多クナルト云フノニ過ギナイ、而シテ一般取引所ノ人ニ向ッテハ、疑念ノ念ヲ懷カシメ、或ハ其營業ヲシテ鞏固ナラシメナイト云フ結果ヲ來スノデゴザイマス、諸君ハ此點ニ於テ既ニ御覺リナリマスレバ、別ニ此案ノ贊成趣旨ニ向ッテ、駁論スル必要ハナイヤウニ思ヒマスガ、念ノタメニ委員會ニ於テ理由ヲシテ御可決ニナッタルコトコロノ趣旨、及森茂生君が過日此案提出ノ場合ニ於テ、御演說ニナッタルコトヲ拜聽致シマシテ、其趣意ニ向ッテ一二言辯駁ヲ加ヘテ置キタイト心得マス、此案ノ提出者タル森茂生君ハ過日斯様ニ述ベラレタ「今や世運ノ進歩ト共ニ百事業發展ノ期ニ際シ、取引所ノ如キ漸次其資本ヲ増加シテ時勢ノ變遷ニ應セントシテ居ルデアリマス、現ニ東京株式取引所ノ如キハ資本金ノ増加ヲスルト云フ評議モ致シテ居リマス」ト斯ウ前置ク言デ「察スルニ當時ノ政府が取引所ニ對シテ、賠償準備積立金ノ規定ヲ設ケマシタノハ、其内實ハ免ニモ角ニモ、其營業ノ安固ナラシメルノ趣旨カラ出タト信シマスガ、元來取引所ナルモノハ、一般ノ商事會社ト違ヒ、其資本ヲ運輸利用

スルモノデハゴザイマセヌカラ、其資本金ハ直チニ賠償準備責任ノ性質ヲ持テ居リマス、先ツ是ガ第一ノ理由、取引所ハ外ノ商事會社ト違フ此資本金ハ何ニモ使ハズ、ソツクリシテアルカラシテ、是ガ即チ賠償準備積立金ノ性質ヲ帶ビテ居ルカラ、此上ニ積立金ハ要ラナイト云フ趣意ガ第一デアリマス、私ハ此法律ノ趣旨ヲ考ヘマスニ、取引所ナルモノハ普通商業ト同ジニ見テ居リマセヌ、是ハ特殊ノモノデアリマス、特殊トハ何デアルカ、大キナ金額、非常ナル金額ノ取引ヲスル、非常ナル損得ヲスル、云ハハ是ハ投機的商業ニ從事スルモノデアル、是ガ我國デハ株式組織デゴザイマスカラ、サウ云フ問題モ起リマスガドウシテモ元來會員組織ニスルノ可ナルヲ信ジマス、併ナガラ今之ヲ喋々論議スル必要ハアリマセヌ、資本金増加、損害賠償積立金ト同一ニ考ヘルノガ、抑誤リデア、見ヨ、取引所法ノ第二十四條ヲ御覽下サイ、取引所法ヲ初メ拵ヘマシタ時分ニハ、二十四條ニ何ト書イタル、取引所ニハ資本金、營業保證金、株式手数料及積立金ニ關スル規定ハ、勅令ヲ以テ之ヲ定ムト書イタル、是レ即チ取引所ナルモノハ一般商業會社ト大ニ違フ居ル、此大取引ヲシ、大損益ノアルモノデアリマスカラ、是デ積立金ヲ特別ニナサシメナケレバナラヌ故ニ、特別ニナサシメル積立金ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトシタル、サウシテ此法律第二十四條ノ規定ハ定テ居ル、若シモ論ノ云フガ如ク、資本金其モノガ準備金デアラバ、論者ノ所謂商法ニ於ケル普通ノ積立金サヘモ、取引所ハ要ラヌト云フ結果ヲ來サナケレバナラヌ、道理ハ決シテサウ云フコトハ容シマイト信ジマス、又其特殊ノ事柄デアラト云フコトヲ別ニ致シマシテモ、資本金ト損害賠償積立金ト置クコトハ、當然ノコトデア、取引所ハ資本金ヲ使ハヌケレドモ、株式組織デアル以上ハ、資本金ハ要ルノデア、資本金ガ要ルト云フコトハ、私ハ喋々シナイ、森君ガ前置ニ言ハレタコトハ、何トアリマス、世運ノ發展ニ從ツテ、是非トモ資本金ヲ増加スルコトハ、必要デア、現ニ東京株式取引所ノ如キ、資本金ヲ増加スル評議ヲシタト云フデアリマセヌ、若シ資本金ガ要ラヌモノデア、直チニ以テ準備金ガアルト云フナラバ、資本金ヲ増加スル必要ハドコニアル、株式組織ノ會社ガ資本金ノ必要ガアレバコソ、是ガ時勢ノ進退ニ伴ヒ必要トシテ建物、敷地其他此會社ガ營業ヲスルニ付イデ資本金ノ入用ナコトハ當然デア、商事會社ト多少違フ居ル商業ヲスル會社デアリマスカ、資本金ナシデ出來マスハ信用ガ出來ナイ、經濟上取引所ハ必要デアルト申シマスレバ、ドウシテモ取引所ハ確定シタ確乎ナルモノニ致スコソ、法律ノ精神デアリマス、資本金ト損害賠償積立金ト置ク必要ガアル、之ヲ特別シテ置クニ及バヌト云フコトハナ、故ニ資本金直チニ準備金ガアルカラ、要ラヌト云フ論ニハ服スルコトガ出來ナイ、其次ニ商法ノ規定ニ依ツテ法定ノ積立金ガアルカラ、此上ニ損害準備金ハ要ラヌト云フ、斯ウ云フ論ヲサレバ、一應御尤ナ次第デアリマス、商法ノ規定ハ所謂法定ノ積立金ハ是ハ何ノ商業ニ拘ハラズ、如何ナル商事會社デゴザイマシテモ、苟モ商法規定ノ範圍内ニ於テ、成立シテ居ル商事會社ハ、一般ニ此法律ヲ遵奉スルノデアリマス、此準備金ヲ置クノハ當然デア、即チ取引所法第三十四條ハ、取引所ナルトコロノ特殊ノ營業ニ對シマシテハ、特別ノ積立金ガ入要デアラカラ、之ニ向テ積立金ヲ命ジタ、決シテ普通ノモノガアルカラ、此上ニ要ラナイト云フ道理ハナ、ソレカラ其次ニハ一割以上配當アル場合ハ、積立金ヲナサシメルガ、一割以下ノトキニハ免除スルノハ、ドウデア、一割以下ノトキト雖モ尙徵收シ、積立金置カケレバナラヌ、然ルニ一割ノトキハ免除シ、一割以上ノトキニハ此積立金ヲナサシメルト云フノハ、不公平デアルト云フ御議論デア、是モ其元ヲ知ラザル甚シキモノデア、法律ハ固ヨリ縱令一割ニ足ラザル配當ノ會社ト雖モ、苟モ取引所營業ヲナス者ニ向テハ制規ノ準備積立金ヲ命令スルノデアリマス、

併ナガラ一面カラ考フルト、營業ノ會社デアリマスカラ、營業利會社デアリマスカラ、此利ガ一割以下ノ場合ニモ、尙且相當ノ積立金ヲナサシメルト云フコトニナツテハ、餘リ氣ノ毒デ所謂程度ニ於テ、法律ハ寛容シタデアリマス、法律ハ一部分ニ向テ寛容サレタ、其寛容サレタ、理由ヲ以テ、直チニ此本體ガ不都合デアルト云フコトハ、少シク道理ノ上ニ於テ容ル、コトノ出來ナイ議論デアゴザイマス、是ノ如ク提出者即チ贊成者ノ議論ハ一モ贊成スルコトノ理由ヲ見出シマセヌカラ、尙此他ニ斯様ナコトヲ申サレテ居ル、是ハ直チニ法案ノ外ニ、理由ノ外ニ、今申シタル理由ノ外ニ、當時政府ガドウ云フコトノタメニ之ヲシタデアアルカト云フナラバ、其魂膽ハ配當ヲ減ズル魂膽ニ出タデアゴザイマス、斯様ニ森君ハ言ハレテ居ル、私ハ此言葉ヲ以テ直チニ今ノ建議者ヲ迎ヘントス、今ノ建議者ハ此案ヲ提出セラル、ノハ、其配當ヲ多クセントメノ魂膽ニ出ヅベシト云フノ外ナイノデア、配當ヲ多クスル、此配當ヲ多クセントメノ魂膽ニ出ヅベシト云フノ外ナイモ、其實ハ利益デナイ、營業ノ鞏固ヲ救ヘ、鞏固ヲ擔保スルニ付イテハ、成ルベク準備金ノ多クシテ、即チ資本金ニ手ヲ付ケサセヌシテ、準備金ヲ以テ損害賠償ヲシテ、責任ヲ完クシナケレバナラヌ、近ク承リマス、八溝金山ト云フ金山デ、株式ヲ人爲的ニ暴騰暴落セシメタトキ、取引所ガ損害賠償ノ責ヲ負ウテ、小十萬圓ノ金ヲ出シタト云フコトデアリマス、斯様ナコトハ是ヨリ後ナイカハ知リマセヌ、尙明治三十五年ヨリ昨年マデノ出來高ヲ統計上ニ見マス、三十五年六月中ニ定期賣買ノ株數ハ九十九萬七千七百三十株、然ルニ本年一月ハドウデア、本年一月中ニ定期賣買ノ株數ハ九十六萬九千九百九十株、本年二月中ニ定期賣買ノ株數ハ九十九萬六千六百四十六株、六倍以上ニ進シテ居ル、是ノ如キ大取引ノアリマス、以上ハ、此大取引所ニ相當スル積立準備金ヲナサシメルコトハ、決シテ不都合デナイ、政府ハ何ヲ苦シテ、妄リニ人ノ財產ヲ左右シヤウト致シマセウカ、即チ取引所ナル特殊ノ商業ニ向テ是デケノ積立準備金ヲナサシメル必要アリト思フナサシメタデア、之ガ實行後未ダ三年ニ滿タナイ、此時ニ當テ之ヲ取ツシマフコトハ、取引所法ノ本旨ニ背クノデア、第三十四條ノ趣旨ヲ減却シ、株主バカリガ配當ヲ多クシヤウト云フ結果ニナリマスカラ、願クハ否決セラレンコトヲ望ミマス

(「討論終結」ト呼ブ者アリ)

(「齋藤桂次君登壇」)

(「恆松隆慶君」ドウモナラヌ、内輪喧嘩デト呼フ)

○齋藤桂次君 内輪喧嘩デアリマスカラ、極ク簡單ニ一言申シマス、實ハ立川君ガ巧妙ナル辯論ヲ以テマシテ、且又得意ニ論議致サレマシタノデ、誠ニ私ハ後ト演說致シマスルコトヲ遺憾ニ思ヒマス、併ナガラ説ノ見所違ヒマスルガタメニ、己ムヲ得ズ親友ノ立川君ニ向テ、反對ヲ表スルモノデアリマス、立川君ノ御議論ハ如何ニモ御尤ノ如ク御辯明ヲサレテ居リマセケレドモ、併ナガラ立川君ガ遡テ此取引所ノ根本ニ付イテ御考下ス事柄ニ變化ヲシテ來タカト申シマス、三十五年ノ六月ノ勅令ニ依ツテハ、資本金ハ三萬圓ト云フコトデア、所ガ之ヲ三十六年ノ七月ニ至ツテ改正ヲ致シテモ、十萬圓ト云フコトニ制限ヲ限リテ加ヘ、十萬圓以內ハナラヌト云フ、最小限ヲ與ヘタデア、而シテ其後ニ一前ニモアリマシタガ、農商務大臣ハ買賣取引ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ資本金額ヲ増加スルコトヲ得ト規定シテ居ル、此第一條ノ最低限度ヲ十萬圓ト致シテ居ルコト、第二ノ農商務大臣ガ、此取引所ノ狀況ニ依テ資本金ヲ増加セシムルト云フ、此二ツノ條項ヲ立川君ニシテ吟味サレタナラバ、決シテ立川君ノ如キ御議論ノ生ズル氣遣ハナイト、私ハ信ズルノデア、立川君ノ立論ヲ段々伺ツテ見マスルト云

タトコロニ依ルト、株式取引所ノ如キモノハ、總テ取引ハ或場所ニ其數ヲ限ツテ、一ツモ
二ツモト云ツテ許スコトハ出來ナイ、特許的ノモノデアルガ故ニ、之ニ對シテ政府ハ嚴重ノ
取締ヲ致サナケレバナラス、又政府モ責任ヲ持タナケレバナヌト申シテ居ル、是ハ當リ前
ノコトデアル、政府ガ責任ヲ持ツハ當リ前デアルガ、併シ前段ニ謂フ、特許的ノモノデ
アルガ故ニ、之ニ對シテ嚴重ナル處分ヲシナケレバナヌト云フニ付イデハ、私共驚ク、成
程此取引所ナルモノハ、正當ニ職務ヲナシテ、正當ニ商賣ヲナシテ、而シテ個人タル華
客ニ向ツテ、損害ヲ受ケルト云フコトノ無イヤウニ、又法律命令ニ背カナイヤウニ、職業
ヲスルコトヲ之ヲ監督スルソハ宜シイケレドモ、此取引所ガ法律ニ違背セズ、職務ヲ正當
ニ行ツテ居ツテ、而シテ此取レタ利益ガアル、其利益ヲ株主ガ正當ニ之ヲ受ケントスルモノ
ヲ、ドコイ貴様ニ皆取ラセヌガト云ツテ、之ヲ押ヘ付ケテ置イテ、是ガ嚴重ナル取締トハ、
抑、何ヲ意味スルノデアルカ、吾、ハ少シモ之ヲ取締トモ何トモ云ハナイ、是ハ個人ノ權
利ヲ壓ヘルト言ハナケレバナラスノデアル、或ハ矢張ツレガ取締ルタメデアルト云フカ知ラ
ヌガ、前段立川君ノ云ハレタ如ク、果シテ政府ハ是ノ如キ特許的ノモノデアッデ、人民ニ
對シテ疑懼ノ念ヲ懷カセテナラヌト云フナラバ、ナゼ全國平均ニ之ヲ致サナイノデアルカ、
即チ立川君ガ自ラ稱シタル如ク、一割以內ノモノニ向ツテハ之ヲスルニ及バヌ、一割以上
ノ利益ヲ得ル所デハ積立ヲセヨト云フノデアル、若シ之ヲ諸君、普通ノ商賣ニ付イデ御
判斷ヲナスたら如何デアル、商ガアッデ利益ノアルモノハ信用ノアルモノデアル、而シテ資
金モ鞏固ナルモノデアル、誰カ是ニ向ツテ不安ヲ懷クモノガアリマセウ、即チ利益ノ少ナイ
又資本ノ少ナイモノニ向ツデコソ、始めテ是ニ於テ不安心ヲ懷クノガ普通一般商事ノ常
ナノデアル、然ラバ取引所ト云フモノハ商事會社デアッデ、此原則ノ外ニ脱ケルモノデハナ
イ、詰リ全國ノモノニ向ツテ同一ニ積立金ヲ命ズルト云フコトデアレバ、取引所ニ向ツデハ
國民一般ニ安心ヲ與フルト云フ理窟ハ立ツケレドモ、利益ノナイモノニハ積立ヲサセナイ、
利益ノ有ルモノニサセルト云フコトハ、詰リ安心ノ上ニ唯安心ヲ累ネサセルト共ニ、一方
不安心ノモノハ益ク不安ノ念ヲ懷カシムルノデアッデ、政府ノ目カラ此不安心ヲ觀テ居
ルト云フコトニナルノデアリマス、故ニ是ノ如キ誠ニ不鈞合ナル勅令ト云フモノヲ存シテ置
クノ必要ハ毫モナイト思フノデアリマス、詰リ「モウ宜カラウ」ト呼フ者アリ」其他ノコトヲ
御話スレバイクラモアリマスガ、却テ倦怠ヲ來タシデハイケマセヌカラ、是ダケニ止メマスガ、
何レニシマシテモ、本案ノ通過ヲ希望スル譯デアリマス

○議長(杉田定一君) 奥野市次郎君

○奥野市次郎君 止メマス

(「採決々々」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 採決ヲ致シマス——委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請
ヒマス

起立者 多數

○議長(杉田定一君) 多數ト認メマス、委員長報告通り決シマシタ
(拍手起ル)

○議長(杉田定一君) 議事日程第十二、行政裁判ニ關スル建議案、議案ノ朗讀ヲ
省略致シマス、宮古啓三郎君

第十二 行政裁判ニ關スル建議案(宮古啓三郎君外二十二
名提出)

行政裁判ニ關スル建議案

行政裁判ハ主トシテ行政官ノ爲シタル不當處分ヲ救済スルヲ以テ目的トスルモノナレハ行政官ニシテ行政裁判ニ干與スルニ於テハ自然其ノ裁判ノ公正ヲ保チ得サルノ虞アリ人ヲシテ徒ニ疑懼ノ念ヲ抱カシメ裁判ノ威信ヲ害スルヤ大ナリ故ニ本院ハ政府カ斷シテ行政官ヲシテ行政裁判所評定官ヲ兼ネシメサルコトヲ望ム

右建議ス

〔宮古啓三郎君登壇〕

○宮古啓三郎君 此案ノ提出者ノ一人デゴザイマスカラ、極ク簡單ニ提出ノ理由ヲ申述ベマス、此案ノ要旨ヲ先ヅ申上ゲマスレバ、是ハ行政官ト云フモノト、行政裁判官ト云フモノト兼ネナイヤウニ致シタイ、即チ言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、行政裁判所ノ評定官ト云フモノハ、必ず專任ト云フコトニ致シタイ斯ウ云フ趣意デゴザイマス、其理由ノ大體ヲ申上ゲマス、行政裁判ト云フモノハ、御承知ノ通り行政官廳ノ爲シタルコトノ不當ノ處分ヲ取消スト云フノ目的デアリマス（簡單々々）ト呼フ者アリ（ソコデ行政官廳ノ處分ト云フモノハ、固ヨリ行政官ガ爲シタルモノデゴザイマスカラ、行政官ガ行政裁判官トシテ其裁判ニ干與スルト云フコトデアリマス）ト云フ、自分ノ爲シタルコトノ不當ニ付イテ、自分ガ裁判ヲスルト云フヤウナ結果ニナルデアリマス、尤モ行政裁判法ノ第十條ト云フ規定ガゴザイマシテ、自分ガ行政官トシテ參與致シマシタコトニ付イテハ、直接ニ關係スルコトハナラヌト云フコトニナツテ居リマシテ、又事實ノ上ニ置キマシテモ、自ラ關係ハ致シテ居リマセヌガ、併ナガラウレデモ斯ウ云フ弊害ガアルデアリマス、ソレハ行政裁判所ノ部内ニ行政裁判官トシテ籍ヲ置キマスルト云フト、他ノ人ニ對シテ自分ノ處分ガ正當デアルト云フコトヲ鼓吹スルノ虞ガアリマス、ソレカラ又自分ガ關係ヲシタ處分ニ付イテマアリマセヌナラバ、自分ノ上官ノ意思ヲ迎合スルト云フノ虞ガ茲ニアルデアリマス、又自分ノ處分ガ正當デアルト云ウテ、他ニ鼓吹スルト云フコトモナク、又上官ノ意思ヲ迎合スルト云フコトガナイト致シマシテモ（モウ宜イデヤナイカ、分テ居ル）ト呼フ者アリ國民ニ於キマシテハ大イニ疑懼ノ念ヲ懷ク、ソレ等ノ結果ト致シマシテ、裁判ノ威信ニ甚シク害ヲ來タス、斯ウ云フ虞ガアリマス（委員付託ニスルノデカラ、委員會デヤリ給ヘ）ト呼フ者アリ（極ク簡單デゴザイマス、斯ウ云フ譯デアリマスカラシテ（定足數ニ缺ケテ居ル）ト呼フ者アリ）行政裁判ニ關スルト云フコトハ、一切セナイト云フコトガ、最モ宜シキヲ得タ方法ト云ハナケレバナラス（分テ居ル）ト呼フ者アリ（ソレデアリマスカラシテ、ドウカ此行政裁判所ノ評定官ト云フモノハ、行政官ノ以外ニ毅然トシテ獨立サセタイト云フノガ、即チ此案ノ趣意デアリマス、終リニ一言附加ヘテ置キマスガ、是ノ如キ案ヲ私共ガ提出致シマシテモ、今日ノ此行政裁判所ニ居ル行政官タル方カ不公平デアルトカ、若クハ偏頗デアルトカ云フコトヲ申スノデアリマセヌ、今日ノ者ハ皆公平デモゴザイマセウシ、偏頗モナイモノト固ク信ジマス、併ナガラ今日以後ノ者ガ必ズサウデアルト云フコトハ、斷言ハ出來マセヌシ、又今日ノ者モ此以後ドウ云フコトニナルカ、ソレハ保證ノ限リデナイノデアリマス、右ノ次第デアリマスカラ、矢張此制度ヲ本案ノ如クシテ置クト云フコトハ、最モ必要ナリト考ヘマシテ、本案ヲ提出致シタ次第デゴザイマス

○議長（杉田定一君）

恒松君發議ノ通り九名ノ委員、議長指名ニ御異議ゴザイマセヌカ

○議長（杉田定一君）

恒松君發議ノ通り九名ノ委員、議長指名ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長（杉田定一君） 御異議ガナイト認メマス——日程第十三、穀物検査ニ關スル建議案、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

第十三 穀物検査ニ關スル建議案（藤金作君外三名提出）

穀物検査ニ關スル建議案

本邦生産ノ穀物ハ概シテ乾燥不良、調製粗雑、容量區々、俵裝亦完全ナラサルヲ以テ實ニ賣買取引上ノ不便不利ナルノミナラス脱粒、蟲蝕、腐敗等ノ爲毎歲國家ノ損失ニ歸スルモノ實ニ驚クヘキ巨額ニ達シ延テ外國產ノ米麥大豆等ノ輸入ヲ増加シ正當流出ノ一大原因ヲ爲ス今之ヲ匡救セムトスルモ彼ノ重要物產同業組合法等ノ能ク其ノ目的ヲ達シ得ヘキアラス故ニ各府縣ヲシテ此ノ目的ヲ達セムカ爲其ノ地方ノ情況ニ參酌シ府縣令ヲ設クルノ標準トシテ政府ニ於テ速ニ穀物検査ノ準則ニ關スル法律案ヲ提出セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○恒松隆慶君

本案ハ會期切迫ノ場合デゴザイマスカラ、提出者ニ此場合説明ヲ省略シテ貴ヒマシテ、サウシテ九名ノ委員議長指名アラシコトヲ希望致シマス

〔贊成々々ノ聲起ル〕

○議長（杉田定一君）

恒松君發議ノ通り九名ノ委員、議長指名ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長（杉田定一君） 御異議ハナイト認メマス——日程第十四、大角力常設館國庫補助ニ關スル建議案、議案ノ朗讀ハ省略致シマス、奥野市次郎君

第十四 大角力常設館國庫補助ニ關スル建議案

大角力常設館國庫補助ニ關スル建議案

國民氣風ノ消長其ノ由リテ來ル處ノ原因一ニシテ足ラスト雖角力ノ技ノ如キハ勇武剛健ノ氣象精神ヲ涵養スルニ當リ多大ノ裨益ヲ與フルモノト言ハサルヲ得ス古來王朝之ヲ節會ノ一ニ加ヘ幕府之ヲ待ツニ士體ヲ以テス其ノ用意頗ル周到ナリト謂フヘシ今ヤ國運勃興威武ヲ中外ニ闡揚スルノ好機ニ際會ス乃チ國民ノ體軀精神ヲシテ勇武剛健ナラシムルノ特技タル角力ノ如キハ宜ク國民ノ遊技トシテ之ヲ保護獎勵スヘキノ要務タルヲ信ス政府ハ如上ノ趣旨ニ據リ大角力常設館ニ對シ國庫ヨリ相當ノ補助ヲ與ヘラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔奥野市次郎君登壇〕

○奥野市次郎君 諸君大分遅クナリマシタノニ、甚ダ御迷惑ト存ジマスケレドモ、若シ之ヲ今日言ウテ置カヌト又明日時間ヲ潰スコトニナリマス、却テ諸君ニ御迷惑ヲ與ヘヤウト思ヒマスカラ、極メテ簡單ニ要旨ヲ述ベマス、暫ク御清聴ヲ願ヒマス（謹聽々々）又「大角力」ト呼フ者アリ（本員外十名ガ提出者トナリマシテ、百二十餘名ノ御贊成ヲ得テ茲ニ提出ヲ致シマシタ建議案ノ趣意ハ、決シテ——徒ニスウ云フ角力ト云ヘルガ如キ慰物ニ向テ、國庫ノ補助ヲ請願スルト云フコトハ如何デアルト云フ御疑問ガ、大分アルヤウニ思ヒマスカラ、其點デケラ特ニ言明ヲ致シテ置キタイト考ヘルノデゴザイマス、何レノ國ヲ問ハズ、其國ニハ各其國特殊ノ藝術、遊戲ヲ持テ居ルモノデアリマスガ、英國ノ如キ海國ニアツテハ、彼ノ船ニ乗ルコトニ慣レテ居ル國民デアリマス、（「ボートレース」ガ、即チ英國ノ國民ノ遊技ニナツテ居ル、米國ノ如キ大陸的ノ農工ノ盛ナル國ニ於テハ、彼ノ「ベースボール」ナドト云フヤウナモノガ、其國ノ國民ノ遊技ニナツテ居ルノデアリマス、若シ之ヲ廣ク歴史ニ徴シテ見マスレバ、羅馬アタリニアリマシタ「グラデー」ノ闘技ノ如

キモノ、又現今ニ於テモ存シテ居ルコロノ西班牙ノ「ブルワ」即チ闘牛ノ技ノ如キモノト、モット古ナリマス希職ニ存シテ居ル「オリシバ」ノ遊戲ノ如キモノ、皆其國ニ相應致シテ居ルコロノ國民的遊戲デアリマシテ、ドコロノ國ニモ皆國民的遊戲ハ、何ガ國民的遊戲カト云フコトヲ考ヘテレバナラヌデアリマスガ、之ヲ歴史上、及今日マデ存シテ居ルコロノ有様ニ依テ考ヘマス、私ハ角力ガ日本固有ノ國民的遊戲デアルト斷定ヲ致スデアリマス、我國民ノ氣風ヲシテ、此武剛健ニ趣カシムルト云フモノハ、角力ノ技ノ如キモノガ與テ大ニ功ガアル信ズルモノデアリマス、ナゼナラバ、角力ハ勝敗榮辱ノ念ヲ盛ニスルモノデアル、兩方カラ出テ、角力ヲ取ル、勝ッテ負ケタト云フ勝敗榮辱ノ念ハ、人ノ精力ノ一精力トハ勢デアリマス、人ノ精力ヲ盛ニスルモノデアリマス、又角力ノ勝敗ハ其爭ヤ君子ナルモノデ、極メテ公明正大ナルモノデアル、其勝敗ヲ士儀ニ決シテ、上儀ヲ降リテシマヘバ、即チ敵味方ガ笑ッテ別レルト云フコトハ、我國固有ノ武士的氣風ニ適フモノデアリマス、角力ハ我國民ノ氣風ヲ涵養スル上ニ於テハ、サウ云フ關係ガアリマスノミナラズ、歴史ノ上ニ現ハレテアル跡ヲ問ウテ見マシテモ、神代ニ遡レバ、角力ノコトヲ力業ト云ヒ、角力ヲ取ル人ト稱シテ、其時分ニ於テハ、之ヲ以テ國防禁衛ノ人トシテ貴シデアアルデアル、是ハ獨リ日本ノ歴史ノミナラズ、古代文明ノ未ダ盛ンナラザリシ時代ニ於テハ、何レノ國ニ於テモ、進歩シタル戰闘武器ト云フモノガナイカラ、臂力拔群ナル者ヲ以テ、其國ヲ守ル、兵士トシタト云フコトハ、例ノ澤山アルコトデアル、我國ニ於テモ其通ニナラシ居ルデアリマス、彼ノ臂力ヲ以テ、即チ昔ノ臂力一腕ヅクヲ以テ、出雲ノ朝廷ヲ征服シタル、武甕槌命ナドハ、今日マデ角力道ノ祖神トシテ貴シデ居ル、天下ノ力士職速ヲ蹴殺シタル野見宿禰ハ、即チ朝廷禁衛ノ人トシテ召サレタデアル、其他歷代ノ聖主ガ、此角力ニ向テ、非常ニ保護獎勵ヲ致サレタト云フコトハ、其例少ナカラズ、之ヲ要スルニ歷代ノ朝廷ハ、角力ノ術ヲ以テ軍ニ一時ノ遊戲ト云フコトニ止メズシテ、之ヲ以テ神聖ナル禁衛國防ノ戰術トシテ、又國民ノ體育ヲ獎勵シ、尙武ノ氣象ヲ發揮スベキ最良ノ手段トシテ、採用セラレタデアリマス、故ニ朝廷ノ大典タル天皇踐祚ノ時ニハ、必ズ角力ヲ朝廷ニ於テ行ハセラレタモノデアリマス、又外國カラ貢物ヲ持テ來タリタルコロノ使臣ヲ、饗宴セラル、場合ニハ、必ズ盛大ナル角力ヲ設ケテ外國ノ使臣ニ見セシメラレタデアリマス、是ハ國威ヲ宣揚シ、尙武ノ氣象ヲ發揮スル精神ニ外ナラヌト信ジマス、更ニ歷史的——抽象的ニ申シテ見マスレバ、文武天皇ノ如キハ、詔ヲ發シテ大ニ角力道ヲ獎勵セラレ、殊ニ王朝ノ盛ヲ極メタル聖武帝ノ時ニ當テ、更ニ此角力ト云フモノニ、一大發展ヲ加ヘ、朝廷政事ノ一分ヲ占ムルニ至リマシタ、其時ニ當テハ、儀式禮典整然トシテ具テ、朝廷ニハ角力ノ節會ヲ設ケラレ、部領使ヲ七道ニ遣ハシテ、諸國ヨリ皆力拔群ナル者ヲ召集メラレ、サウシテ角力ヲ取ラセルト云フコトニナラ、丁度角力ノ節會ヲ續ナハセラル、ト云フコトハ、今日ノ觀兵式ヲ舉行ニナルト同ジコトデ、相模ノ別當ヲ置イテ、親王ヲ以テ之ニ補スルト云フ事柄ガ、歴史ノ上ニ存シテ居ルデアリマス、其如キ事例ヲ舉ゲ來リマスレバ、僕ヲ更テモ暇アラザル位デアリマス、然ルニ此勇武ノ朝廷ガ、即チ此王朝時代ノ朝廷ノ政權ガ、藤原氏ノ外戚ニ歸シテヨリ、漸ク文弱ニ流レ、其文弱ニ流レタ結果ハ、ドウデゴザイマセウカ、王朝ノ政權ガ武門ノ手ニ移リマシタデアル、角力ノ獎勵保護ノ王朝ニアリマシタ時代ニ於テハ、其王朝ハ誠ニ勇武ナル朝廷デアッタガ、一旦文弱ノ弊ニ流ルレバ、政權武門ニ移ッテシマウト云フコトカラ見レバ、角力ガ吾國ノ歴史ニ於テ、尙武剛健ノ氣象ニ大關係ナルコトハ此一事ニ關シテ明カデアル、其後徳川幕府ニ至ルマデ、幾多

ノ變遷ヲ經シタガ、幕府時代ニ至ッテハ封建ノ諸侯ハ角力取ニ重キトコロノ俸祿ヲ與ヘテ抱ヘ、所謂抱ヘノ武士同然ノ待遇ヲ以テ角力取ヲ待ツデアアル、本員ガ此建議案ニ「待ツニ士禮ヲ以テス」ト云フハ即チ是デアル、スレバ王朝ノ時代ニアリテ、角力ノ節會ヲ起シテ、是ヲ獎勵シ、武門ノ時代ニ於テハ、待ツニ士禮ヲ以テシテ、此角力道ヲ保護獎勵シタト云フコトハ、決シテ一娛樂ト云フコトニ止マラズ、是ニ依ッテ國民ノ氣風國民ノ精神ヲ涵養陶冶スルニ於テ、大イナル效驗ノアツタコト、確信スルデアリマス、我國徳川氏三百年ノ太平ニ饗シテ、士風ノ敗壞シタルニモ拘ハラズ、尙幾分ノ武士的精神ヲ存置シタト云フコトハ、種々ナル原因關係モアッタラウト思ヒマスガ、角力ナドハ確カニ之ヲ維持スルニハ一ツノ功デアッタト信ジマス、私ハ斯様ニ歷史的事實ヲ略敘シテ、角力ヲ獎勵保護スベキ所以ヲ述ベマシタケレドモ、必シモ告朔ノ餼羊ヲ存スルト云フ、守舊ノ精神ヲ以テ角力ノ獎勵保護ヲ唱ヘルモノデアリマス、更ニ私ハ進ンデ此角力ヲ社會ヨリ觀察シナケレバナラヌト思ヒマス、我國ハ今ヤ世界ノ各國ト角逐場ニ上ボルニ當ッテ、一等國ノ伍伴ニ列シテ居ルデアル、然ラバ一等國ノ伍伴ニ列シタリト云ッテ、兵力ノ上ニ於テ、金力ノ上ニ於テ、一等國ノ伍伴ニ列シタリト云フテ、ソレデ安心スルコトハ出來マセヌ、教育ノ方面ニ於テモ、種々ナル方面ニ於テ、一等國ト角逐スルダケノ準備ガ出來ナケレバナラヌ、諸君、此世界ノ一等國ノ伍伴ニ列シタル大帝國ノ國民ハ、如何ナル國民的遊戲ヲ持ッテ居ルカ、芝居ハドウデアルカ、芝居ハ國民的遊戲ト云ハ、言ハレルカモ知レヌケレドモ、芝居ハ角力ノ如ク手輕ク興行スルコトガ出來マセヌカラ、縱シ之ヲ興行シタカラト云フテモ、決シテ貴賤老若ノ別ナク、ドコモ出來ルモノデアハナシ、獨リ角力ニ至ッテハ、少シ廣イ場所ガアレバソコヘ土俵ヲ造ッテ、御互ニ取合ヒサハスレバ、角力ガ出來ルデアル丁度「ボートレース」ヤ、「ベースボール」ト同ジモノデアッテ、即チ演劇ニ較ベテ見レバ、角力ノ方ハ遙ニ國民的遊戲ノ原則ニ適フテ居ルモノデアル、サウスレバ此世界ノ一等國ノ伍伴ニ列シタル國民ハ、兵力、金力、教育、其他ノ方面カラ來ル力ト同時ニ、又社會ノ上ニ向ッテモ老若貴賤上下相集ッテ歡樂スルコロノ一ツノ遊技ト云フモノヲ存シテ置カケレバナラヌデアル、サウシテ外國カラ貴賓ノ來遊ニナッタトキニ、日本ニハ是ノ如キ國民的遊技ガアルト云フコトヲ示シ、昔カラ日本ニハ斯様ノ歴史ガアリ、斯様ガ由緒ニ依ッテ、日本ノ強キ國民ガ出來タト云フ感情ヲ起サシムルカラ、此點ヨリ申シテモ、角力ノ保護獎勵ハ決シテ等閑ニ視ルベキモノデアリト信ズルデアリマス、唯如何セン今日デハ完全ナル角力ヲ取ル場所ガ無イデアル、現ニ諸君ガ角力ヲ見ント欲シテモ、雨ガ降ルト、雨降デアルカラ今日ハ休ミデアル、斯ウ云フコトニナルデアリマス、兩ガ降ルト國民的遊技ヲ爲スベキ場所ガ無イ、ソナ心細イ國民デハ未ダ以テ誇ルニ足ラナイ、雨ガ降ラウガ、天氣デアラウガ、角力ヲ取ル場所位ハ造ッテ置カケレバナラヌ、此間英國ノ皇朝「コンノート」殿下ガ御來遊ニナリマシタ時分ニ、日本ノ角力ヲ見タイト云フコトヲ仰セラレタケレドモ、電信ノ問達デ御覽ニ入レルコトガ出來ナカッタハ、竊ニ遺憾トスルトコロデアリマスガ、御覽ニ入レル場所ハドウウカト云フト無イデアル、私ハ甚ダ關點ナリト致シテ居タデアルガ、今度大角力協會ガ發企シテ角力常設館ヲ建設スルト云フコトデアル、其建設スル場所ハ、最モ廣大ナル場所ニ建設致シテ、サウシテ玉座ヲ設ケ、貴賓ノ觀覽場ヲ設ケ、角力ヲ取ル外ニ於テハ或ハ擊劍ノ如キモノ、柔術ノ如キモノ音樂ノ如キモノ、サウ云フ高尚ナル遊技ヲ演ズルコトノ出來ル場所トシテ、是ヲ建設スルト云フデアリマスカラ、斯ウ云フモノガ出來マシタラバ、日本ノ國民的遊技ヲ内ニ於テモ、外ニ對シテモ、十分ニ顯揚スルコロノ備ガ出來ルデアリマスカラ、是ハ社會ノ上カラ見テ、甚ダ必要ニシテ且適當ナル事業デアルト信ズルデアリマ

ス、サアレ今日ノ如キ國費多端ノ際ニ當リテ、多クノ金ハ補助セラレンコトヲ請フガ如キハ、本員ノ衷心ニ於テ言フコトヲ憚ルトコロアリマス、併シ換言スレバ、今ノ角力ナルモノハ、幕府時代ニ「蒙御免」ト云フコロノ大ナル建札ノ下ニ與行シテ居ルモノデアルガ、今日ハ立憲ノ時代ニナリタカラ、立憲的ニ「蒙御免」ト云フ建札ヲ得ント欲スルニ外ナラヌノアリマス、本建議ノ趣意ハ、非常ニ私ハ細カニ述ベヤウト思ヒマシテ、腹案ヲ有シテ居リマスカラ、若シ演説ヲスレバ、二時間位ノ時間ヲ戴カケレバナラヌノデアルマスケレドモ、今日ハ極ク簡單ニス様ナ由緒アル來歴アルトコロノモノデアッテ、今日ノ日本ノ國情ノ上ニ於テ、極メテ必要ナルモノナルガ故ニ、國庫ノ中カラ聊カニテモ補助ヲ得ルコトガ出來マシタナラバ、此上モナキ仕合セナリト信ジマシテ、角力ノタメニ氣ヲ炫ニ吐キマシテ、諸君ノ御贊同ヲ請ヒタイノデアルマス

○恆松隆慶君 本案ハ誠ニ結構ナ建議デ、即決シテモ宜シウゴザイマスガ、宛ニ角一應委員ニ付託シテ、調査セシメタイ、九名ノ委員、議長指名ヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通九名ノ委員、議長指名ニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、此際諸君ニ申上ケルコトガアリマスガ、貯蓄銀行法案ノ委員會ハ、會期切迫ノ今日デアリ、又政府ノ希望モアリマスノデ、旁ノ明日ニモ開會シテ、審査ヲ進行セラレンコトヲ希望致シマス

○恆松隆慶君 十五ヨリ十七マデノ議案ハ一括シテ議題ト致シ、各々提出ノ理由ヲ此場合略シテ、各案九名ノ委員、議長指名アラランコトヲ望ミマス

〔贊成「ト呼フ者アリ」〕

○議長(杉田定一君) 恆松君發議ノ通日程第十五、十六、十七ノ三案ヲ一括シテ、議題ト爲スコトニ、御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハ無イト認メマス

第十五 市町村長ニ對スル行賞ニ關スル建議案(關信之介君外六名提出)

市町村長ニ對スル行賞ニ關スル建議案

日露戰役ニ於テ能ク宣戰ノ聖意ヲ貫キ能ク國威ヲ宇内ニ發揚シタルモノ固是レ聰明睿智允文允武ナル 大元帥陛下ノ稜威ニ賴リテ忠勇ナル陸海軍人ノ偉功ヲ奏シタルモノトス而シテ舉國一致克ク堅忍持久ノ力ヲ養ヒ在外軍人ヲシテ毫モ内顧ノ憂ナカラシメタルモノ固ヨリ國民忠愛ノ致ス所雖亦國民ヲシテ能ク舉國一致ノ實ヲ顯ハシ堅忍持久ノ力ヲ養ハシメタルモノ是レ偏市町村長ノ功勞ニ歸セサルヲ得ズ之ヲ詳言スレハ一タヒ動員令ノ下ルヤ應召員ヲシテ其ノ機ヲ誤ラシメサルカ如キ或ハ應召員ノ征途ニ就クヤ勉メテ其ノ行ヲ壯ニシ益報效ノ念ヲ奮起セシメタルカ如キ或ハ常ニ出征軍人ノ家族ヲ慰問シ或ハ其ノ保護ニ勉メタルカ如キ或ハ赤十字社員愛國婦人會員ノ募集ニ勉メタルカ如キ或ハ市町村、主トナリ戰病死者ノ葬儀ヲ營ミ或ハ後送負傷者ノ慰問ニ勉メタルカ如キ或ハ凱旋軍人ノ慰勞ニ勉メタルカ如キ終始勉勵其ノ功勞屈指ニ違アラサルベシト雖就中軍需品ノ徵發若ハ買上ニ方リ咄嗟之ヲ辨スルニ勉メタルカ如キ若ハ前後五回ノ國債募集或ハ非常特別稅ノ増課ニ勉メ當局者ヲシテ畫策措置著々違算ナク緯々餘裕アラシメタルモノ要スルニ是レ市町村長カ鞠躬盡

瘁ノ功勞ニ由ラスムハ非ラサルナリ故ニ市町村長ノ功勞ヲ錄スルニ方リテハ寧ロ之ヲ軍人ニ比スヘク敢テ之ヲ地方行政官ニ比スヘカサルナリ然ルニ政府ハ獨市町村長ニ對シテノミ復タ日清戰役ニ於ケル行賞ニ擬スルカ如キコト之レアラムカ豈啻ニ國民ノ輿望ニ負クノミアラサルヘキヲ恐ル故ニ政府ハ公平ノ方法ニ據リ適實ノ恩賞ヲ行ハレムコトヲ望ム

第十六 屯田兵恩給ニ關スル建議案(淺羽靖君外六名提出)

屯田兵恩給ニ關スル建議案

現行恩給法ニ據レハ獨リ屯田兵ニ對スル恩給輕キニ失スルノ憾ナキ能ハス政府ハ宜ク其ノ實情ヲ查察シ速ニ適當ノ改正ヲ加ヘ以テ軍人恩給ノ公平ヲ圖ラムコトヲ望ム

第十七 伊勢神宮大祓及曆頒布ニ關スル建議案(濱田國松君提出)

伊勢神宮大祓及曆頒布ニ關スル建議案

伊勢神宮大祓及曆ノ製造頒布ハ明治三十二年勅令第三百七十四號ノ規定ニ依リ宜ク神部署ノ掌ルヘキ所タリ然ルニ內務大臣カ一訓令ノ下ニ私設財團タル神宮奉齋會ヲシテ之ヲ全國ニ頒布セシメツツアルハ唯ニ訓令ヲ以テ勅令ヲ矯ムルノ不法アルノミナラス私團ノ取扱ハ其ノ間頒布方法ノ慎重ヲ闕クヲ以テ其ノ結果、大廟ノ尊嚴ヲ害シ延テ國體ヲ瀆スノ恐レアリ政府ハ速ニ該訓令ヲ取消シ勅令ニ基キ神部署ヲシテ之ヲ頒布ヲ爲サシメムコトヲ望ム

○議長(杉田定一君) 此三案ニ付イテ、各案共ニ九名ツ、ノ議長指名ノ委員ヲ設クルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハ無イト認メマス、報告ガアリマス

〔書記朗讀〕

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

狩獵法中改正法律案

提出者 森 肇君 上 埜 安太郎君 河 上 英君

提出者 橫井 時雄君 江 藤 新作君 石 塚 重平君

早 速 整 爾君

一星松三郎君ヨリ滿韓ニ貯蓄シ置キタル糧食ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

〔左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス〕

滿韓ニ貯蓄シ置キタル糧食ニ關スル質問

右成規ニ據リ提出候也

明治三十九年三月二十三日

提出者 星 松三郎

贊成者 澤 來太郎

一 滿韓ニ貯蓄シ置キタル糧食ニ關スル質問

大連營口奉天遼陽其他ニ於ケル糧食ノ跡始末如何

- 二 糧食中營口ニアリシ臺灣米ヲ東北三縣凶作地ニ拂下ノ見込ヲ以テ内務大藏兩省カ陸軍省ト交渉中突然大倉組ニ拂下ケタル理由如何
- 三 昨年九月以來罐詰鹽乾魚肉重燒麵包乾野菜大麥燕麥豆糟玄米白米割麥等ヲ拂下タル數量及金額如何

理由書

本文ニ記載セルヲ以テ之ヲ略ス

一 委員ヲ指名スル左ノ如シ

辯護士法中改正法律案委員

阿部 德三郎君

福岡 精一君

小 河 源一君

行政裁判ニ關スル建議案委員

宮 古 啓三郎君

關 直 彦君

大淵 龍太郎君

穀物検査ニ關スル建議案委員

藤 金 作君

工藤 善助君

是永 歲太郎君

大角力常設館國庫補助ニ關スル建議案委員

山 本 幸彦君

河 井 重藏君

小 河 源一君

市町村長ニ對スル行賞ニ關スル建議案委員

村 松 愛藏君

福 島 美之助君

關 信 之介君

屯田兵恩給ニ關スル建議案委員

征矢野 半彌君

市 田 兵七君

淺 羽 靖君

伊勢神宮大麻及曆頒布ニ關スル建議案委員

植 木 元太郎君

澤 田 佐助君

河 上 英君

刑ノ執行ヲ猶豫セラレタル者ノ公民權及議員ノ選舉權被選舉權ニ關スル法律案委員

木 暮 武太夫君

望 月 長夫君

城 重 雄君

向 坂 弘君

大熊 三之助君

岡 井 藤之丞君

鈴木 友治郎郎

安 島 重三郎君

谷 澤 龍藏君

池 松 豐記君

佐藤 庫喜君

雄倉 茂次郎君

奧野 市次郎君

神崎 東藏君

神 藤 才一君

松 田 吉三郎君

梅 野 初實君

石 田 孝吉君

吉 植 庄一郎君

小 田 文行君

松 井 源内君

竹 内 千代足君

伊 夫 資弼君

栗 原 宣太郎君

林 小 參君

藤 澤 幾之輔君

加 瀬 禧逸君

立 川 雲平君

大 畑 純次君

辻 寬君

○議長(杉田定一君) 次回ノ日程ハ追テ公報ヲ以テ御通知致シマス、今日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時二十八分散會

衆議院議事速記録第十五號正誤

頁	段	行	誤	正
二八〇	下	一	興行銀行	興業銀行
二八〇	下	二	興行銀行	興業銀行
二八〇	下	六	興行銀行	興業銀行

衆議院議事速記録第十九號正誤

頁	段	行	誤	正
三六六	上	二一	閉鎖	開鎖